

「で・あ・い」を手にしてくれたお友だちへ

西東京市図書館では、「夏休みすいせん図書」「ドキドキわくわく1ねんせい号」「ドキドキわくわくあたらしい本」「宿題のしらべかた」を作り、小学生のみなさんにいろいろな本をしょうかいしています。みなさんもたくさんの本をよんでくれていることでしょう。

たのしい本、^{かんどう}感動する本、^し知らなかったことを^{ほっけん}発見する本などをしょうかいした「で・あ・い」で、あなたのまだ知らない、さまざまな本に出会ってください。そして、読んで^{かん}感じて^{かんが}考えて、すてきな^{まいにち}毎日を^{あゆ}歩んで^{おも}いってほしいと思います。

.....

保護者の方へ

西東京市子ども読書活動推進計画の目的に、「子どもたちは読書活動を通じて、楽しく言葉を学び、感性を磨き、表現力を高めます。また、多くの人の考えや生き方に触れることにより、自らの視野を広げ、ものごとを深く考えることができるようになる」といわれます。さらに、「必要な情報を選択して適切に活用する情報処理の能力も培われます。」とあります。

「で・あ・い」は、西東京市図書館が21年間発行してきた「夏休みすいせん図書」をはじめとし、これまで発行した本のリストを基に、児童サービス担当司書が選書し作成しました。このリストが、子どもたちの読書環境への手助けとなることを願っています。

もくじ

1・2年生

えほん	3 - 14
よみもの	15 - 25
せんそう・へいわのほん	26 - 28
ちしきのほん	28 - 32

3・4年生

絵本	33 - 40
読み物	40 - 54
戦争・平和の本	54 - 57
知しきの本	58 - 62

5・6年生

絵本	63 - 68
読み物	68 - 83
戦争・平和の本	84 - 88
知識の本	88 - 92

アイラのおとまり

バーナード・ウエーバー 作・絵 まえざわあきえ 訳
徳間書店

アイラは、ともだちのレジーのうちにとまりにい
くことになった。いつもいっしょにねている、ぬい
ぐるみのくまちゃんをつれていくことがちょっとは
ずかしい。あかちゃんみたいだとおもわれるからね。



あらしのよるに

きむらゆういち 作 あべ弘士 絵
講談社

あれくうあらしのよる、ヤギはやっとのおもいで、ちいさなこ
やにたどりついた。そこへ、もういっぴきのどうぶつが、こやには
いってきた。二ひきともかぜをひき、はながきかず、あいてのにお
いがわからない。だれだろう。でも、こんなあらしのよるは、だれ
かがちかくにいるほうがこころづよいようにおもう二ひきだった。
シリーズは全7巻あります。

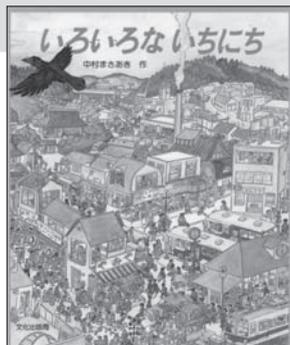


いろいろないちにち

中村まさあき 作
文化出版局

うみべのまちの一日のようすをおなじところから
かいた絵本です。ごぜんよじにおきているのはだ
れ？ しんぶんやさん、えきいんさん、りょうしさん
…。

2じかんごとにえがかわります。すみからすみま
でたのしめるえほんです。



ウィリーとともだち

アンソニー・ブラウン さく あきのしょういちろう やく
童話館出版

ウィリーはひとりぼっち。役にたたないので、みんなウィリーをゲームにに入れてくれません。ある日、ウィリーは公園をあるいていました。あれこれ思いなやみながら…。そこへ、ヒュー・ジェイブが走ってきてふたりはぶつかり、ともだちになりました。ウィリーにはできること、ヒュー・ジェイブにはできること。それぞれあるみたいです。



うちにあかちゃんがうまれるの

いとうえみこ 文 伊藤泰寛 写真
ポプラ社

うちにあかちゃんがうまれることになりました。おかあさんのおなかはどんどんおおきくなっていきます。「トクトクトクトク」あかちゃんのしんぞうのおとがきこえました。はやくあかちゃんにあいたいな。



おおきなきがほしい

さとうさとる ぶん むらかみつとむ え
偕成社

「おおきな木があるといいな。」かおるはおもいました。はしごをつかうぐらいおおきくて、とちゅうにこやがあって、なかにはテーブルとイスがあり、ホットケーキがたべられます。りすやとりがあそびにくるような、おおきな木。よんでいると、みんなもほしくなるよ。



おこだでませんように

くすのきしげのり 作 石井聖岳 絵
小学館

ぼくはいつもおこられる。いえでもがっこうでも。いもうとが、わがままいうからおこると、すぐになく。そして、ぼくがおこられる。サッカーでなかまはずれにされたからキックしたのに、ぼくだけおこられた。いつもいつもおこられる。どないしたらおこられへんのやる。



クイールはもうどう犬になった

こわたまみ 文 秋元良平 写真
ひさかたチャイルド

もうどう犬のやく^め目は、目の見え^みない人^{ひと}をたすけて^{ある}歩くことです。クイールはく^{れん}じょで、もうどう犬になるためにいろいろなことをおぼえます。まっすぐ歩くことや、まがりごどや、だんのあるところを^{おし}教えること。クイールがもうどう犬としてはたらく^ひ白が、ちかづきます。



くまのコールテンくん

ドン=フリーマン さく まつおかきょうこ やく
偕成社

おもちゃうりばのぬいぐるみやにんぎょうたちは、はやく、だれかに、じぶんをうちにつれていてもらいたいとおもっていました。くまのコールテンくんも。でも、ズボンのつりひものボタンがとれているくまのこは、みむきもしてもらえません。コールテンくんは、ボタンをさがしにいきました。



けんかのきもち

柴田愛子 文 伊藤秀男 絵
ポプラ社

ぼくのなまえは、たい。いちばんのともだちは、こうた。なのに、こうたとすっごいけんかした。けり、いれた。パンチ、した。でも、こうたはつよい。ぼくはなきながら、うちにかえた。こうたがあやまったけど、けんかのきもちはおわってない。



こいぬのうんち

クオン・ジョンセン 文 チョン・スンガク 絵
ピョン・キジャ 訳
平凡社

ちいさくて、なきむしの、こいぬのうんち。「ぼくはなんのやくにもたたないんだ。これからどうすればいいんだろう?」とひとりさびしくつぶやきました。そんなとき、たんぽぽとであい、やがてはるがくると…。



さっちゃんのまほうのて

たばたせいいち / 先天性四肢障害児父母の会 /
のべあきこ / しざわさよこ 共同制作
偕成社

ようちえんのおままごとで、おかあさんになりたいさっちゃんですが「てのないおかあさんはへん」といわれ、けんかをしてしまいます。さっちゃんのみぎてにはゆびがないのです。でも、「さっちゃんのてはまほうのて」なのです。



しずかに!ここはどうぶつのとしょかんです

ドン・フリーマン 作 なかがわちひろ 訳
BL出版

としょかんがだいすきなおんなのこカリーナは、どうぶつのはんをよんでいるとき、どうぶつたちもととしょかんにはいれるひがあるといいのに、とおもいました。いったいどんなどうぶつがきてくれるのでしょうか。



だいくとおにろく

松居直 再話 赤羽末吉 画
福音館書店

あまりにながれがはやく、なんどはしをかけてもながされてしまうかわがあった。そこに、はしをかけることになっただいくは、かわにすむおにとであい、かわりにはしをつくってもらった。おには、おれいのだいくのめだまがほしいという。



だいじょうぶだいじょうぶ

いとうひろし 作・絵
講談社

ぼくは、小さいときから、おじいちゃんとさんぽをたのしんでいました。ちょっと大きくなると、たのしいはっけんとであいもふえるけど、こわいことやしんばいなこともふえていきました。そんなとき、おじいちゃんは「だいじょうぶ、だいじょうぶ」って言ってくれました。おまじないのように。



でこちゃん

つちだのぶこ さく・え
PHP研究所

でこちゃんは、おかあさんにかみのけをきってもらいました。すると、みんなでこちゃんのおでこをみて、おおわらい。でこちゃんは、おでこが、きになってそとへでられません。このままでは、ようちえんに行くこともできません。そこで、おねえちゃんは、おでこがすきになるおまじないをしてくれました。



時計づくりのジョニー

エドワード・アーディゾーニ 作 あべきみこ 訳
こぐま社

小さな男の子、ジョニーは手先がたいへん器用で、ものをつくるのがじょうずでした。ある日、本物の大時計をつくろうと決心しますが、お母さんもお父さんも先生もばかなことをと、あいてにしてくれませんが、スザンナだけが、しんじてくれました。ジョニーの時計づくりがはじまります。



としょかんライオン

ミシェル・ヌードセン さく ケビン・ホークス え
福本友美子 やく
岩崎書店

あるひ、としょかにライオンがはいてきました。ひとびとはびっくり。メリウエザーかんちょうは「しずかにおぎょうぎよくできるならきてもいいですよ」といいました。それからライオンは、まいにちとしょかんにくるようになりました。



となりのせきのますだくん

武田美穂 作・絵
ポプラ社

あたしはみほ。きょう、がっこうにいけないきがする。となりのせきの、ますだくんが、いじわるなの。けしごむのかすがはみだしたりしたら、いすをけったりする。きゅうしょくのシチューのあかいにんじんやとりにくがいやでこっそりのこすと、「いけないんだー」っていう。がっこうにいくの、やだな。



ともだち

谷川俊太郎 文 和田誠 絵
玉川大学出版部

ともだちって、かぜがうつっても、へいきだっていってくれるひと。ともだちなら、たんじょうびをおぼえていよう。ひとりではつまらないことも、ふたりでやればおもしろい。ともだちって、すばらしい。



ともだちや

内田麟太郎 作 降矢なな 絵
偕成社

ある日、キツネがおもいついたのは、ともだちやさんをはじめること。いちじかんひやくえんで、ともだちになってあげるのです。ちょうちんとほりをよういして、「えー、ともだちや…」とこえをだして、あるいていきます。

でも、ともだちやって、おきゃくさんがくるのかな？



どろんこぶた

アーノルド・ローベル 作 岸田衿子 訳
文化出版局

こぶたがすきなのは、どろんこのなかにはいってどろだらけのべたべたになること。さいこうにきもちがいいんだって。でも、きれいすきなお婆さんは、ぴっかぴかにおおそうじ。どろんこがなくなって、つまらなくなったこぶたはいえでをしました。



なまえ 名前をつけるおばあさん

シンシア・ライラント 文 キャスリン・ブラウン 絵
まついたかえ 訳
新樹社

ながい ^{なまえ} 長生きして、名前をよぶ友だちもいなくなったおばあさんは、さびしくて、自分の車に「ベッツィ」、いすに「フレッド」、^{いえ} 家に「フランクリン」という名前をつけてくらししていました。あるひ、おばあさんはフランクリンの^{もん} 門のところに茶色の子犬がいるのを見つけてます。さて、おばあさんは子犬にどんな名前をつけた^{おも} と思う？



ハガネの歯

クロード・ブージョン 文と絵 末松氷海子 訳
セーラー出版

ルルのおじいちゃんの^は 歯は、ハガネの歯^は と呼ばれていました。いまは、1本しかありませんが、この歯こそ、ハガネの歯^は なのです。毎朝毎晩ききめ満点のクリームをつけてみがかきました。この強い^は はがねの歯のすごさをルルに見せてあげようとしたのですが、つまずいでさいごの1本の歯^お が折れてしまいました。



はたらきものあひるどん

マーティン・ワッデル さく ヘレン・オクセンバリー え
せなあいこ やく
評論社

あひるどんのごしゅじんは、いちにちじゅう、ベッドにころがって、たいへんなのらくらどん。だから、あひるどんがはたらかなくちゃしょうがなかった。ごしゅじんは「しっかりやってるかね」といって、ごろごろ。つかれはてげっそりしたあひるどんをみて、のうじょうのどうぶつたちは、かいぎをひらいた。



はちうえはぼくにまかせて

ジーン・ジオン さく マーガレット・ブロイ・グレアム え
もりひさし やく
ペンギン社

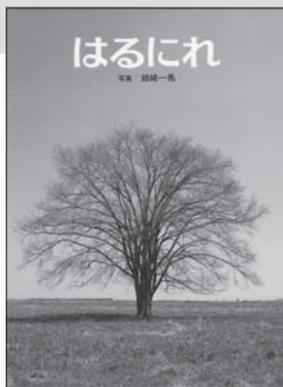
トミーは、なつやすみに、おでかけをするきんじょのいえのうえきばちをあずかり、せわをすることにしました。みずをやり、いっしょうけんめいせわをしましたが、たいへんなことに。そこで、トミーはとしょかんにいき、しょくぶつのほんをかたっぱしからよみました。



はるにれ

姉崎一馬 写真
福音館書店

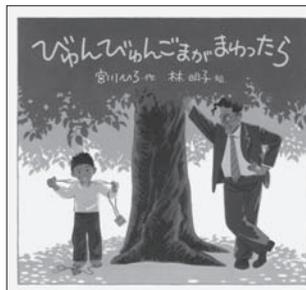
「はるにれ」という^き木を^えしていますか？この絵本は、ほっかいどうの^{ほん}そうげんにたつ一本のはるにれの一年をとった^{ねん}写真絵本です。もじはありませんが、ゆきの中、きりの中、はっぱを^{なか}しげらせた写真など、ページごとにちがうはるにれのすがたがあります。



びゅんびゅんごまがまわったら

宮川ひろ作 林明子 絵
童心社

1ねんせいのこうすけは、がっこうのとなりにあるあそびばの1ぼんばしからおちて、ほねをおってしまいました。そのときから、あそびばには、かぎがかけられてしまいます。あたらしくきたこうちょうせんせいは、かぎをあけてほしいとたのむこうすけに、びゅんびゅんごまをくれました。



ふたりはきょうも

アーノルド・ローベル作 三木卓 訳
文化出版局

がまがえるのがまくんとかえるくんは、せいかくがぜんぜんちがうのに、いちばんのなかよしです。

そんな2ひきのまいにちのできごとが、みじかい5つのおはなしになっています。



ふれ、ふれ、あめ!

カレン・ヘス作 ジョン・J. ミュース 絵
さくまゆみこ 訳
岩崎書店

「ふれ、ふれ、あめ!」テッシーはいいました。もう3しゅうかんも、からからのてんきがつづいています。そんなとき、とおくのそらにくもがわいてきました。すると、ぽつりとあめがふってきたのです。



ペレのあたらしいふく

エルサ・ベスコフ さく・え
おのでらゆりこ やく
福音館書店



ペレはじぶんだけのこひつじをかっています。こひつじがおおきくなると、ペレはこひつじのけをかりとりました。そしてちいさくなったじぶんのふくのかわりに、そのけをいとして、じぶんのあたらしいふくをつくることにしました。

まいごのどんぐり

松成真理子 作
童心社

ぼくはコウくんのどんぐりです。あきになり、コウくんがどんぐりひろいをしていると、ぼくはコウくんのかばんのなかから、おちてしまいました。だけどコウくんは、かれはのなかのぼくをみつけれません。



メアリー・スミス

アンドレア・ユーレン 作 千葉茂樹 訳
光村教育図書

げつようび あさ
月曜日の朝、よあけはまださきなのに、メアリー・スミスはもうおでかけ。町はずれの家をでて、ねしずまった家いえをとおりこし、とつぜんたちどまる。ポケットからとりだしたのは、しわしわでかちかちの豆！メアリー・スミスは何をするのかな？



よじはんよじはん

ユン・ソクチュン ぶん イ・ヨンギョン え
かみやにじ やく
福音館書店

ちいさなちいさなおんなのこ。となりのみせ
にいってきいたの。「おじさんおじさん いま な
んじ かあさんが きいてきてって」「よじはんだ」
「よじはん よじはん」と、おんなのこはつぶやいて…。まだふつうの^{いえ}家には時計^{とけい}
というものがなかった、むかしの^{かんこく}韓国^{はなし}のお話。



ラチとらいおん

マレーク・ベロニカ ぶん・え
とくながやすもと やく
福音館書店

ラチはよわむしなおとこのこでした。いつも
なかまはずれにされ、ないてばかり。らいおん
のえをみては、こんならいおんがいてくれたらなあとおもっていました。あるひ、
ちいさなあかいらいおんがあらわれ、ラチをつよくしてやろうといいました。



わたしの病院、犬がくるの

大塚敦子 写真・文
岩崎書店

こどもたちが^{びょうき}病気で^{にゅういん}入院している。まいにち^{ねつ}熱を
はかり、くすりをのみ、つらいちりょうにもが^んば
る。病院^{びょういん}のなかには学校^{がっこう}もある。プレイルームでみ
んなと^{あそ}遊ぶ。ある日、病院に犬が来た！犬^{いぬ}がくる日
は、みんなワクワクしてあつま^る。犬^{びょういんない}と病院内^{さん}を散
歩^ほ、だっこして、おなかスリスリ。入院中のこどもたちと犬^{しやしん}の写真^{えほん}絵本です。



あおい目のこねこ

エゴン・マラーセン さく・え せたていじ やく
福音館書店

あおい目^めのげんきなこねこは、ねずみのくにをみつけにでかけましたが、なかなかみつかりません。とちゅうで、五ひきのきいろい目のねこたちとであい、いっしょにくらしはじめたあおい目のこねこは、あるひ…。



あたまをつかった小さなおばあさん

ホープ・ニューウェル 作 松岡享子 訳 山脇百合子 画
福音館書店

ちい^{ちい}さなきいろい家^{いえ}にすむひとりの小さなおばあさん。たいへんびんぼうでしたが、じょうずにあたまをつかっては、うまくやっていました。どういうふうにあたまをつかったのかな？



1ねん1くみ1ばんワル

後藤竜二 作 長谷川知子 絵
ポプラ社

1ねん1くみ1ばんワルってただだかしている？ くらさわくんなんだ。きょうもくらさわくんは、じてんしゃをかついですべりだいにのぼり、ジェットコースターみたいにすべりだいをかけおりた。くらさわくんはこわいけれど、ちょっとかっこよかったなとぼくは思^{おも}ったんだ。シリーズは全23巻あります。



いやいやえん

中川李枝子 さく 大村百合子 え
 子どもの本研究会 編集
 福音館書店

ちゅーりっぷほいくえんには、やくそくが七十ぐ
 らいあります。「なげないこと」「ぶたないこと」「ひっ
 かかないこと」「はをみがくこと」「てをあらうこと」
 などかんたんなことばかり。それなのに、しげる
 はきょういち^{いちにち}じゅうなな^{じゅうなな}で十七かいもやくそくをわすれました。



エルマーのぼうけん

ルース・スタイルス・ガネット さく わたなべしげお やく
 ルース・クリスマン・ガネット え 子どもの本研究会 編
 福音館書店

ゆうかんな^{おとこ}男の子エルマーは、しりあつたねこから、
 どうぶつ島にとらえられている、かわいそうなりゅうの
 子のはなしをききます。りゅうの子をすくいだすために、
 エルマーはおそろしいもうじゅうがすむ、どうぶつ島へ
 しゅっぱつします。シリーズは全3巻あります。



おいしいのぼうけん

ふるたたるひ / たばたせいいち さく
 童心社

さくらほいくえんには、こわいものがふたつありま
 す。ひとつはおしいれで、もうひとつは、ねずみばあ
 さんです。きゅうしょくやひるねのときにさわいでい
 ると、せんせいにおしいれにいれられます。あるひ、
 さとしとあきはひるねのじかんなのにさわいでい
 て、おしいれにいれられてしまいました。



おともださにナリマ小^{しょう}

たかどのほうこ 作 にしむらあつこ 絵
フレーベル館

ある日、学校へへんてこな手紙^{てがみ}がとどきます。「おともださにナリマ小^{しょう}」って、書いてあります。いったい、どんな意味でしょう？そして、だれがなんのために書いたのでしょうか？

じつは、一年生^{いちねんせい}になったばかりのハルオだけが、そのわけをしっていました。



おもしろ荘のリサベツ

アストリッド・リンドグレン 作 石井登志子 訳
イロン・ヴィークランド 絵
岩波書店

六月^{がつ}が丘^{おか}のそば^{そば}を流^{なが}れる川^{かわ}のほとり^{ほとり}の大きな赤^{あか}い家^{いえ}、「おもしろ荘^{そう}」。ここに住^すむマディケンのいもうと、リサベツトには、いろいろなもの^{もの}を押^おしてむくせ^せがありました。ある日^ひ、リサベツトはエンドウ豆^{まめ}を鼻^{はな}のあな^{あな}に押しこ^こんでしまいました。鼻^{はな}のおく^{おく}のほう^{ほう}まではいった豆^{まめ}はとれません。



きいろいばけつ

もりやまみやこ 作 つちだよしはる 絵
あかね書房

げつようび、きつねのこが、きいろいばけつ^{きいろいばけつ}をみつけました。なまえはかいてありません。こんなばけつ^{ばけつ}がほしいな、ときつねのこはまえからおもっていました。

だれかとりにくるか、いっしゅうかんまつ^{まつ}ことにしました。



としょかん きょうりゅうが図書館にやってきました

アン・フォーサイス 作 熊谷鉦司 訳 むかいながまさ 絵
金の星社

どくしょじゅうかん
読書週間のもよおしで、トムたちはまちとしょかんへ
やってきました。お話会がはじまるまえに、シロクマ、
ライオン、パンダがあらわれました。中に人がはいて
いるぬいぐるみです。でも、さいごにやってきましたきょう
りゅうだけは、ほんものだったのです。トムたちは
まえ前にこのきょうりゅうにあったことがありました。



こうさぎのあいうえお

森山京 作 大社玲子 絵
小峰書店

こうさぎは、おかあさんに、じをおしえてもらいま
した。「うさぎ」ってかけるようになりました。「ぎ」
のてんてんとをとると、きつねくんの「き」です。きつ
ねくんに「き」のじをおしえてあげました。ともだち
のこうさぎ、きつね、こりすたちは、とつてもたのし
そうにじをおぼえていきました。こんなふうに…。



ごきげんなすてご

いとうひろし さく
徳間書店

さんかげつまえ、おとうとがやってきました。おさるが
おで、かわいくなんかないのに、おかあさんは、おと
うとばかりかわいがる。あたしのことなんか、ほっ
たらかし。それなら、あたしは、すてごになろう。そ
して、すてきなうちに、もらわれていくんだ。あたしは、
すてごになるための、じゅんぴをはじめた。



こちらゆかいな窓ふき会社

ロアルド・ダール 文 清水奈緒子 訳
クエンティン・ブレイク 絵
評論社

ビリーの家の近くの元お菓子屋さんに、『はしご不用窓ふき会社』という看板がでていた。キリンがはしご、ペリカンがばけつ、ふくのはサル。ビリーはマネージャーに。677枚の窓がある公爵家にやとわれ大活躍！



このつきなあに

山中恒 作 栗田八重子 絵
あかね書房

「おおにゆうどうにばけるときは、しっぽにきをつけなさい。だいじゃのときは、あしやみにきをつけなさい。おにのときは、かおやせなかにきをつけなさい。」と、おしえられるのに、やまには、ばけるのがへたなためきがあります。でも、そんなためきのおかげで、やまにひとりのこされたおじいさんは、さびしいおもいをしなくてすみました。



こひつじクロ

エリザベス・ショー 作・絵 ゆりよう子 訳
岩崎書店

ひつじの番犬ポロは、しっかりもの。ポロがほえれば、ひつじはみんないうことをききます。でも一匹だけ、くろくて小さなひつじのクロにはこまっていました。ちっともいうことをきいてくれないのです。でも、そんなクロが大かつやく。



こぶたのポインセチア

フェリシア・ボンド 作・絵 池本佐恵子 訳
岩崎書店

ポインセチアには、六ぴきのきょうだいがいます。ある日、図書館からおきにいりの本を、かりてきたポインセチアは、しずかに本をよめるところをさがしますが、どこへいってもきょうだいたちがいて、よめません。



ジェインのもうふ

アーサー＝ミラー 作 厨川圭子 訳 アル＝パーカー 絵
偕成社

ジェインは赤ちゃんのときから、ピンクのふんわりしているもうふをつかっています。うまれたときからつかっているの、てばなすことはできません。ミルクをのんでいるあいだも、にぎったままです。おおきくなったある日、そのもうふをひつようとしているとりがいました。

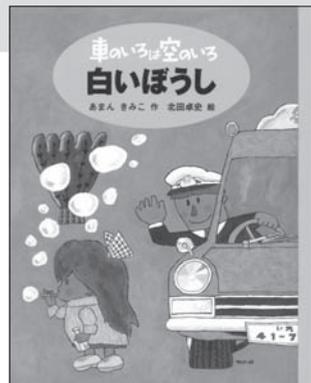


白いぼうし 車のいろは空のいろ

あまんきみこ 作 北田卓史 絵
ポプラ社

空いろのびかびかのタクシー、うんてんしゅは松井五郎さんです。タクシーは、いろいろなお客さんをのせてはしります。でも、なかにはふしぎなお客さんもいるのです。

松井さんが出会ったきょうのお客さんは…？
シリーズは全3巻あります。



すすめのおくりもの

安房直子 作 菊池恭子 絵
講談社

あるあさ、とうふやさんはみせのそとからよぶこえで、目をさました。とうふやさんが、戸をあけるとそこにはたくさんのすすめが^{いち}れつにならなくて、「このだいすでとうふを^{いっ}ちょうつくってください。」と、おじぎをしました。



たからものくらべ

杉山亮 作 中西恵子 絵
福音館書店

わたし、とまこ6さいと、おとうとのたかし4さいのたからものくらべ。わたしのたからものは「うまれたひのあしがた」や「かいがら」。たかしのは、「せっこうのはがた」や「くらっかー」。たからものとりかえっこをしたりもするよ。



ちびっこ^{だい}大せんしゅ

シド・ホフ ぶんとえ 光吉夏弥 やく
大日本図書

ハロルドは、リトル・リーグのなかでも、いちばん^{ちい}小さいせんしゅです。だから、いつもベンチをあたためているだけで、でばんはありません。シーズンのさいごのしあいになったとき、とうとうハロルドにチャンスがやってきました。



なきむし

今村鞆子 作 菊池恭子 絵
文研出版

やせっぽちの^{てんこうせい}転校生、^{ゆうき}勇氣という男の子の^{おとこ}あだ名は^ななきむし。クラスで事件やいじめがあると、^{おお}いつも大つぶのなみだを、ぽろぽろとこぼしつづけます。でも、この^{おん}勇氣くんのなみだによって、クラスがかわっていきました。



なぞなぞのすきな女の子

松岡享子 さく 大社玲子 え
学研教育出版

あついなつには ^ききものをきて ^{さむい}さむいふゆになると ^ききものをみんなぬいではだかになってしまうものなあに。あるところに、なぞなぞの^{おんな}すきな女の子がいました。なぞなぞあそびをしてくれる人をさがしに^も森へでかけると、オオカミにあったので、女の子は「なぞなぞあそびしましょうよ。」とさそいました。 「半」ㄥㄣㄣ*



なんでもふたつさん

M・S・クラッチ ぶん 光吉夏弥 やく K・ビーゼ え
大日本図書

なんでもふたつもたないときがすまない「なんでもふたつ」さん。うわぎも、ズボンも、いえも、しごとも、なんでもふたつ。でも、ざんねんなことに、おくさんとむすこのピーターはひとりでした。そんなある日、すぐきんじょにピーターというピーターとおなじとしのおとこのこが、ひっこしてきました。



はじめてのキャンプ

林明子 さく・え
福音館書店

「おおきいこは、あさって、かわらにキャンプにいけますよ。」と、ともこおばさんがいます。ちっちゃいなほちゃんが「わたしもいく！」という、みんなが「ちっちゃいこはなくし、ちっちゃいこはこわがるからだめ！」っていいます。なほちゃんが「なかない！こわがらない！」っていったので、つれていってもらえることになりましたが…。



ぼん 番ねずみのヤカちゃん

リチャード・ウィルバー さく 松岡享子 やく 大社玲子 え
福音館書店

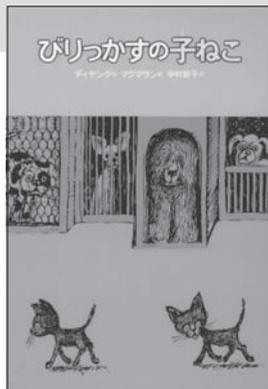
こねずみのヤカちゃんは、おかあさんに「しーっ、しずかに！」といわれても、つい、大きな声おおこえをだしてしまいます。大きな声おおこえをだして、このいえのドドさんとおくさんに見つかったら大変たいへんです。ある日ヤカちゃんは、ドドさんにきづかれました。「ねずみとり」がしかけられ、わなのチーズのいいにおいにひきよせられてしまったヤカちゃんは…。



びりっかすの子ねこ

マインダート=ディヤング 作 中村妙子 訳
ジム=マクマラン 絵
偕成社

びりっかすの子ねここは、七ひききょうだいのすえおおこ。大きいおにいさんたちにおされて、おっばいも、すこししかのめません。ある日、おりからおちたさきは、なんと、目の見えめない年なより犬いぬのうえでした。



ふたごのでんしゃ

渡辺茂男 作 堀内誠一 絵
あかね書房

ふたごのでんしゃ、べんけいとうしわかには、いつもげんきにまちなかをはしてしていました。ところが、じどうしゃがたくさんはしるようになり、二だいはほしいやに！ふたごのでんしゃはどうなるのでしょうか。



ふとんかいすいよく

山下明生 作 渡辺洋二 絵
あかね書房

耳のびょうきでプールでおよげないカズくんのために、とうちゃんは、ふとんのうえですいえいをおしえてくれた。青いふとんはうみのよう^{あお}で、カズくんはかいすいよくじょうにいるような^ききぶんだ。



ふらいぱんじいさん

神沢利子 作 堀内誠一 絵
あかね書房

ふらいぱんじいさんは、いつもこどもたちのためにめだまやきをつくるのがしごとでした。ところが、おくさんがあたらしいめだまやきなべをかってきたので、かなしくなったふらいぱんじいさんは、あたらしいせかいをさがしにたびにでることにしたのです。



むねとんとん

さえぐさひろこ 作 松成真理子 絵
小峰書店

きょうは、おばあちゃんがうちにくるひ。ひとりでくらしていたおばあちゃんは、ずいぶんとしをとったので、くまくんたちといっしょにくらすことになったのです。わすれることがおおくなってきたおばあちゃんは、くまくんといっしょにしたことや、くまくんがいったことを、むねにしまっておきたいとむねをとんとんたたきます。



雪だるまのひみつ

ルース・エインズワース 作 河本祥子 訳・画
岩波書店

ピッパは学校がっこうにいるあいだ、これからつくる雪だるまのことばかり考えていました。学校がおわると、いそいで家いえにかえり、雪だるまをつくりはじめました。ニンジンで口をつくると、なんと雪だるまはピッパはなに話しかけてきたのです。



ライギョのきゅうしよく

阿部夏丸 作 村上康成 絵
講談社

ドーナツいけにすんでいるライギョとタナゴは、とてもなかよしです。二ひきは、さかな学校がっこうの一年生いちねんせいになりました。『ライギョ学級』と『タナゴ学級』のきょうしつで、じかんわりひょうを見て、二ひきはびっくら!



アンナの赤いオーバー

ハリエット・ジーフェルト ぶん アニタ・ローベル え
松川真弓 やく
評論社

「戦争がおわったら、あたらしいオーバーを買ってあげようね」お母さんが、去年の冬にそういつていたけど、お店はからっぽです。お金も持っている人もいません。おかあさんは、どうしたらいいか考えました。そして、金時計をもっておひやくしょうさんのところに行きました。



絵本 おこりじぞう

山口勇子 原作 沼田曜一 語り 四国五郎 絵
金の星社

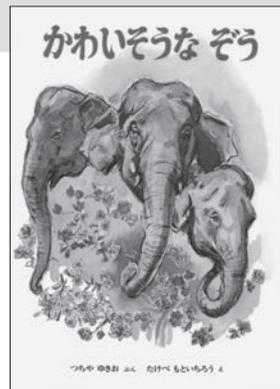
日本がせんそうをしていたむかし、ひろしまに、小さなおじぞうさんがたっていた。おじぞうさんはわらったかおをしていたので「わらいじぞう」とよばれていた。しかし、1945年8月6日、ひろしまにげんぱくがおとされた日、おじぞうさんのかおは「おこりじぞう」にかわった。



かわいそうなぞう

つちやゆきお ぶん たけべもといちろう え
金の星社

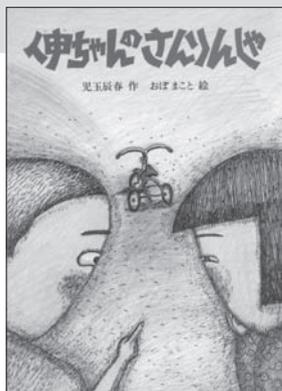
せんそうちゅうのことです。もし、ばくだんがどうぶつえんにおちて、どうぶつたちがまちじゅうにあばれだしてはたいへんと、どうぶつたちはつぎつぎに、どくでころされました。そしてにんきもの三とうのぞう、ジョン、トンキー、ワンリーのぼんになりました。



しん 伸ちゃんのさんりんしゃ

児玉辰春 作 おぼまこと 絵
童心社

もうすぐ四さいになる伸ちゃんは、よくはれたひろしまのそらのした、にわでさんりんしゃにのってあそんでいました。そのとき、おおきなばくだんがおちたのです。それは、なんじゅうねんもまえのおはなしです。



大砲のなかのアヒル

ジョイ・コウレイ 文 ロビン・ベルトン 絵
ロニー・アレキサンダー / 岩倉務 訳
平和のアトリエ

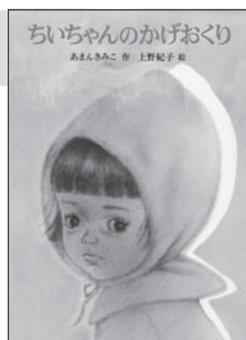
大砲のなかにアヒルが巣をつくりました。大砲をのぞきこむと、アヒルの小さなふたつの目がみえます。アヒルのたまごがかえるまで、大砲がつかえないので、戦争は3週間おやすみ。おやすみのあいだ、兵隊たちは、町の家のパンキをぬることにしました。さて、アヒルがうまれて、大砲からでてきました。兵隊たちは「戦争ができる！」と、さけぼうとしましたが、



ちいちゃんのかげおくり

あまんきみこ 作 上野紀子 絵
あかね書房

かげぼうしを、じっと見つめてから青い空を見上げると、かげぼうしがそっくり空にうつってみえる。おとうさんがせんそうに行くまえの日におしえてくれ、ちいちゃんとおとうさんとおかあさんとおにいちゃんとおとうさんと四人でやりました。四つのかげぼうしが、空にきねんしゃしんのようにうつりました。ある夏の夜、町がくうしゅうにおそわれ、ちいちゃんはおかあさんとはぐれてしまったのです。



ともだちのしるしだよ

カレン・リン・ウィリアムズ / カードラ・モハメッド 作
 ダーグ・チャーカ 絵 小林葵 訳
 岩崎書店

リナとフェローザは、なんみんキャンプでくらしています。ふたりは、いっそくのきいろいサンダルを、かたほうずつもらったので、まいにちじゅんばんにはくことにしました。あるひ、リナがアメリカに行くことになり、サンダルを「ともだちのしるし」としてかたほうずつもっていることにしました。



一つの花

今西祐行 文 鈴木義治 絵
 ポプラ社

たべるものがないせんそう中、ゆみ^こ子が、さいしょにおぼえたことばは、「一つ^{ひと}だけちょうだい」でした。おとうさんはなににもあげるものがなくて、コスモスの^{ほん}花を一つあげました。



スプーンぼし(ほくとしちせい)とおっぱいぼし(カシオペア座)

八板康磨 写真と文 杉浦範茂 絵と構成
 福音館書店

はれたひのよる、きたのそらにみえるほしのなかに、スプーンのかたちをしたほしがあるのをしているかい？ほしとほしを、せんでつないでみるとわかるよ。これは、ほくとしちせいっていうんだよ。



じめんのうえとじめんのした

アーマ E. ウェバー ぶん・え 藤枝濤子 やく
福音館書店

みどりいろのしょくぶつには、じめんのうえに
でているところと、じめんのしたにもぐっている
ところがある。にっこうにあたるしょくぶつは、
はからくうきをとりいれねからみずをとりいれて
えいようぶつをつくる。どうぶつは、どうやって
えいようをとるのだろうか。



むしを たべる くさ

渡邊弘晴 写真 伊地知英信 文
ポプラ社

このふしぎな かたちをしたものは なん
だろう。とげのついたはっぱ、ねばねばした
ものがついたはっぱ、つぼのかたちの おと
しあなのあるしょくぶつ。

これは、みんな むしを たべる くさなんだ。



しっぽのはたらき

川田健 ぶん 藪内正幸 え 今泉吉典 監修
福音館書店

どうぶつたちは、しっぽをもっています。そし
て、しっぽをじょうずにつかって、せいかつして
います。くもざるは、しっぽでくだものを、もぎ
とります。にほんざるは、しっぽをたてて「ぼく
は つよいんだぞ」ということをあらわしています。よわいさるは、しっぽをさ
がけています。このほんをよむと、いろんな「しっぽのはたらき」がわかります。



みんなのかお

さとうあきら 写真 とだきょうこ 文
福音館書店

ゴリラ・ゾウ・サイ・タヌキ、どうぶつたちのかおってみんなおなじようだけど、じつは、にんげんとおなじように^{いっ}一ぴきずつちがう。^{にほん}日本のどうぶつえんにいるどうぶつたちのいろいろなかおが、たくさん見られます。



ミミズのふしぎ

皆越ようせい 写真・文
ポプラ社

ミミズってしてる？
どんなところにすんでいるのか、みたことある？どうやって、なかまをふやすのかな。ミミズには、まだしられていない、ふしぎなことがいっぱいあるよ。



ダンゴムシみつけたよ

皆越ようせい 写真・文
ポプラ社

ダンゴムシってしてる？よろいのようなからをつけ、ときにはダンゴのようにまるくなるんだ。でも、こんちゅうではなく、エビやカニのなかま。どこにいるのかな。さがしてみよう。



いもむしのうんち

林長閑 監修 E.E.net 構成
アリス館

いもむしのうんちを見たことがありますか？うんちのかたち、におい、うんちをするしゅんかん…。いもむしのうんちには、！（ビックリ）と？（フシギ）がいっぱいです。



おサルちゃん -きみに会いに来たよ-

斎藤和幸 写真と文
小学館

ぼくたち人間にいちばん近い友だち、おサルちゃん。ぼくはそんなおサルのことをいろいろ知りたくなった。そこで、野生のおサルちゃんに会いに行った。おんせんにもはいる長野県志賀高原の地獄谷にすむサルの1年をおった写真絵本。



くらやみでもへっちら

桃井和馬 ぶん 長野ヒデ子 え
大日本図書

「まっくらやみ」ってなんだろう？いまは、夜でも外にはあかりがたくさんあるから、家の中でもくらやみの世界を体験してみよう！用意するものは、のみもの、おかし、かいちゅう電灯、香水、手ががみ。これらをつくえにならべて、部屋のカーテンをしっかりとめて、あかりをけすと…。



しょうたとなっとう

星川ひろ子 / 星川治雄 写真・文
小泉武夫 原案・監修
ポプラ社

なっとうがだいきらいなしょうた。なつのはじめ、しょうたはおじいちゃんとはたけにあおだいずのたねをまきました。そだっただいずはいろいろへんしんするんだって。なににへんしんするのかな？



こいぬがうまれるよ

ジョアンナ・コール 文 つぼいいくみ 訳
ジェローム・ウェクスラー 写真
福音館書店

おとなりのいぬに、あかちゃんがうまれるの。いっぴきわたしがもらうんだ！かあさんいぬのおなかから、うまれてきたあかちゃん。わたしがもらう、このこのなまえはソーセージ。こいぬがうまれ、そだっていくようすがえがかれた写真絵本。



ことばあそびうた

谷川俊太郎 詩 瀬川康男 絵
福音館書店

かっぱ かっぱ らった
かっぱ らっぱ かっぱ らった
とって ちって た・・・

ことばは、おもしろい。こえにだすと、もっとおもしろい。さあ、みんなもこえにだしてよんでみよう。



あかてぬぐいのおくさんと7にんのなかま

イ ヨンギョン ぶん・え かみやにじ やく
福音館書店

むかし、あたまにあかいてぬぐいをかぶっているおくさんがいました。おくさんはおほりがとてもじょうずで、へやにはいつも7つのどうぐがありました。それはものさし、はさみ、はり、いと、ゆびぬき、のしごて、ひのしでした。あるひ、あかぬぐいのおくさんがうたたねをしているあいだに、どうぐたちが「いちばんだいじなのはわたし」といきました。



アニーとおばあちゃん

ミスカ・マイルズ 作 ピーター・パーノール 絵
北面ジョーンズ和子 訳
あすなろ書房

アニーは、アメリカ西部のナバホ・インディアンの少女です。アニーはおばあちゃんが毎晩話してくれる昔話を聞くのが大好きでした。ある夜おばあちゃんは、「今織っているじゅうたんができあがるころには母なる大地に帰る」と静かに言いました。アニーは、じゅうたんができあがらないようにいろいろなことをします。



うごいちゃだめ!

エリカ・シルヴァマン ぶん S. D. シンドラー え
せなあいこ やく
アスラン書房

あひるとがちょうが、きょうそうをした。およぎもとぶのもおなじぐらいじょうずで、りょうほうともゆずらない。とうとう“うごいたらまけ”きょうそうをすることになった。はちがきても、うさぎがきても、うごかない。そこへ、きつねがやってきた…。



エゾオオカミ物語

あべ弘士 作
講談社

むかし、北海道ではエゾオオカミもエゾシカもすんでいた。北海道開拓がはじまり、人間がやってきた。いつもより寒い冬、オオカミのえもののシカがいなくなったので、オオカミは牧場の馬をおそい、人間はオオカミを殺した。いまではいなくなってしまったエゾオオカミのお話。



おじいちゃんのところ

ヘレン・V. グリフィス 文
ジェームズ・スティーブンソン 絵
あきのしょういちろう 訳 童話館出版

ジャネッタは、汽車にのってながい旅をすることになりました。おかあさんといっしょに、おじいちゃんにあいにくためです。おかあさんは、子どものころ、おじいちゃんのところまで過ごしたことをきかせてくれました。でも、はじめてみるふるくさいおじいちゃんの家を、ジャネッタはすきになれませんでした。



おぼえていろよおおきな木

佐野洋子 作・絵
講談社

おおきな木のかげの、ちいさいいえにすんでいるおじさん。おおきな木にあつまってきたことが、うるさくてねむってられない。木のしたでおちゃをのんでいると、こどりのふんがおちてくる。せんたくものは木のかげでかわかない。そのたびに、おじさんは木をけとばしながらいいました。「おぼえていろよ。」



かせ かみ 風の神とオキクルミ -アイヌの民話-

萱野茂文 斎藤博之 絵
小峰書店



わたしは、ピカタカムイという風の神です。おもいのままに空をとび、風をおこすことができます。ある日、人間の国アイヌの村をみわたすと、村じゅうがたのしそに見えたので、大きな風をおこし人間たちをおどかしてしまいました。ところが、一けんだけぽつんとのこっている家がありました。それは、神の国からアイヌの国へいったつよいわかも、オキクルミの家だったのです。

三ねんねたろう

おおかわえっせい ぶん わたなべさぶろう え
ポプラ社



はたらきものでおっかさん思いの若者がいた。村にはたんぼに水をひく川がなく、ひでりが続くと稲はかれてしまう。いくら働いても、くらしはらくにならならず、びょうきのおっかさんは「おこめのごはんがたべたい」と言って死んでしまった。それから、若者はだれが何しても寝続けた。寝て、寝て三ねん三つきたったある日のこと…。

世界のだっことおんぶの絵本 -だっこされて育つ赤ちゃんの一日-

エメリー&ドゥルガ・バーナード 文・絵
仁志田博司 / 園田正世 監訳
メディカ出版



世界中どこでも、赤ちゃんは、しっかりとだっこされるのが大好きです。そして、お父さんとお母さんは、しごとやたのしみのために、両手をあけておかなければなりません。世界の国々で、赤ちゃんがどのようにだっこ・おんぶされているのかがわかる絵本です。

ソルビム —お正月の晴れ着—

ペ・ヒョンジュ 絵と文 ピョン・キジャ 訳
セーラー出版

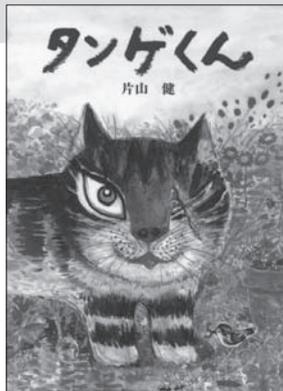
きょうはお正月。みーんなみんなあたらしくは
じまるさいしょの日。「あたらしいもの」のなかで
いちばんすてきなのはやっぱり…あたらしいチマ・
チョゴリ！オンマ（おかあさん）がぬってくれた晴
れ着を着るの！韓国・朝鮮の人々が着る、お正月の
ために新調した晴れ着、ソルビム。その着方を紹介した絵本。



タンゲくん

片山健 作
福音館書店

あるひ、いっぴきのねこがうちにやってきました。
かたほうのめをけがしているので、おとうさんが「タ
ンゲくん」となまえをつけました。よるはかえって
くるけれど、ひるまはいったいどこへいつているの
かしら？



手のなかのすずめ

アンネゲルト・フックスフーバー さく
さんもりゆりか / おつきゆきえ やく
一声社

「お母さんのかばんにつかまっているのよ。」そ
ういわれたのに、市場に買い物に行ったときに、
お母さんとはぐれてしまったティム。ティムの不
安な心が、まわりを暗い森にしまいます。ティ
ムは森の中で小さなすずめと出会いました。



ともだち、なんだもん！ -コウモリのステラルーナの話-

ジャネル・キャノン 作 今江祥智 / 遠藤育枝 訳
BL出版

コウモリのステラルーナ。フクロウにおそわれたときに、ふわふわしたとりの巣におちてしまいました。ここでは、かあさんどりが、えさであるむしをはこんでくれます。コウモリなのに、とりの巣でとりのせいかつができるのかな。きょうだいたちともなかよくできるのかな？



ねえねえ、もういちどききたいな わたしがうまれたよのこと

ジェイミー・リー・カーティス 作
ローラ・コーネル 絵 坂上香 訳
偕成社

あなたが生まれたときや小さかったときのことを、お母さんやお父さんに聞いたことがあるでしょう。聞いているときは、うれしいけどはずかしいような。このえほんの女の子も「ねえねえ、もういちどききたいな」とせがみます。お父さんとお母さんは、どんなお話をしてくれるのでしょうか。



八郎

斎藤隆介 作 滝平二郎 画
福音館書店

むかし、秋田のくにに、八郎というかしの木ほどの背ただけで、うでもかたもむねも大きな山男が住んでいた。もっともっと大きくなりたくて「うおーい、うおーい」と海に向かってさけぶと、ずんずん大きくなって、山を持ち上げるほどにもなった。あるとき、村にとてつもない大波がおしよせて来て、村は大変なことになった。そこで八郎は、荒れ狂う海に向かってすすんでいった。



ひと

1つぶのおこめ -さんすうのむかしばなし-

デミ 作 さくまゆみこ 訳
光村教育図書

インドのあるちほうの、けちなおうさま。むらびとがおさめたおこめを、ひとりじめ。おうさまのこぼしたおこめをひろったラーニが、そのごほうびとしてもらったのは1つぶのおこめ。それを30日のあいだ、まえの日のばいのかずのおこめをもらうことにしました。さて、ラーニがもらったおこめはなんつぶ？



みえないってどんなこと？

星川ひろ子 写真・文
岩崎書店

すーさんはあそびをいっぱいしているおじさん。ある日、もうどうけんのエルバをつれためぐみさんと、ようちえんにきました。

めぐみさんは目がふじゆうです。「みえないってどんなことかなあ…」「あさになってもよるのままなのかなあ…」みんなはあそびながら「みえないこと」をかながえます。

みえないってどんなこと？



星川ひろ子 写真・文

岩崎書店

門ばんネズミのノーマン

ドン・フリーマン 作 やましたはるお 訳
BL出版

マジェスティック美術館^{びじゅつかん}には、門ばんであるネズミのノーマンがいます。ノーマンの仕事は、地下室^{たから}にしまっただけのお宝^{げいじゆつ}を、芸術^{かいせつ}ずきのなかまたちに解説^{かいせつ}すること。そして、ノーマンの趣味^{しゆみ}も、楽しいもの^{うつく}をつくることでした。

そんなある日、美術館^{ちようこく}で彫刻^{ちようこく}コンテストが行われると知ったノーマンは、自分でつくった針金彫刻^{はりかねちようこく}の作品^{さくひん}をそと会場^{かいじよう}においておきました。



フリーマン 作 やましたはるお 訳

BL出版

やあ、ともだち!

クリス・ラシュカ 作・絵 泉山真奈美 訳
偕成社

ともだちになりたい人がいたら、どうする？まず、「やあ！」ってこえをかけてみよう。こえをかけられたら、どうする？ちょっとかながえて、「やあ！」っていってみよう。それがともだちのはじまりだよ。



夢はワールドカップ

ティム・ヴァイナー 作 川平慈英 訳
あかね書房

地球^{ちきゅう}って、まるで大きなサッカーボールみたいだね。そうぞうしてみて！今、世界じゅうでどれくらいの子どもたちが、サッカーをしてるんだろう？世界じゅうの子どもたちの夢、そう、それは、ワールドカップ^{ゆうしやう}で優勝すること。きみが思うより、ずっと多くの子どもたちが世界中で今、サッカーをしているよ。



ヨニのビニールがさ

ユン・ドンジェ 作 キム・ジェホン 絵
ピョン・キジャ 訳
岩崎書店

ざあーざあー雨がふる月曜日の朝。学校へ行く道でヨニは、雨にぬれながらねむっているおじいさんを見かけました。朝の自習^{じしゅう}をおえたヨニが、校門のそとへでてみると、おじいさんはやっぱり雨にうたれていました。あたりをよーく見まわしたヨニは、おじいさんに近づくと…。



4こうねんのぼく

ひぐちともこ さく・え
草炎社

1 ころねんはなれた星から地球を見ると、一年前の地球が見えるって先生がおしえてくれた。4 ころねんはなれた星から見たら四年前の地球。そしたら、おかあちゃんが見える。ぼくは、星のかんさつの宿題をしに行った公園で、ころそくしゅんかんいどうがたロケットをつくる、えらいはかせになることを決心した。



ロバのシルベスターとまほうの小石

ウィリアム・スタイグ さく せたていじ やく
評論社

ある雨の日、ロバのシルベスターは、きみような小石を見つけました。その石が、のぞみのかなうまほうの石ということをしたシルベスターは、よるこんで家に持ち帰ります。ところが、そのとちゅうでライオンにであったシルベスターは、思わず「ぼくは岩になりたい」とねがってしまいました。



大阪ずしひみつの大作戦

北ふうこ 作 長野ヒデ子 絵
汐文社

『江戸前ずし ますや寿司』は大阪にあるゆうやのうちです。彼の学校のアメリカからきたマイケル先生が、大阪ずしを食べたいと言いました。でもますや寿司には大阪ずしはありません。ゆうやは友だちと三人で作ることを計画しました。ところが、先生は急にアメリカへ帰ることになりました。



大どろぼうホッツェンプロッツ

オトフリート＝プロイスラー 作 中村浩三 訳
偕成社

ある日、カスパールのおばあさんのうちに、どろぼうがはいました。その名はホッツェンプロッツ、世にもおそろしい大どろぼうです。おばあさんをおどしてうばったのは、おばあさんのだいじなコーヒーひき。カスパールはなかよしのゼッペルといっしょに、大どろぼうをつかまえようとぼうげんにでかけます。



おかあさんがいっぱい

東君平 作・絵
金の星社

4年4組には34人の生徒がいます。その34人におかあさんが34人います。そして、先生にもおかあさんがいるし、作者の東君平さんにもおかあさんがいます。この本には、36人のおかあさんの話がのっています。目次は4年4組の座席表になっています。みんなのおかあさんは、どんなおかあさんかな？



おさる日記

和田誠 文 村上康成 絵
偕成社

ぼくのおとうさんはふなの船乗り、二万トンのおおきな船ふねに乗っている。半年ぶりにかえてきたおとうさんは、ぼくに小さいおさるをくれた。このかわいいおさるに「もんきち」という名前をつけた。ふしぎなことに、もんきちひは日ごとに人聞にんげんみたいになってきて…。



おそうじをおぼえたがらないリスのゲルランゲ

ジャンヌ・ロッシュ＝マゾン 作 山口智子 やく
堀内誠一 画
福音館書店

じゅういつご
十一ぴきの子リスのきょうだいと、おばあさんリス
はやし
がブナの林のなかにすんでいました。いちばん小さな
子リスのゲルランゲは、おそうじがすきではありません
でした。毎回おそうじをさぼるゲルランゲは、とう
まいかい
とうおうちをおいだされてしまいました。



カドヤ食堂のなぞなぞ

富安陽子 さく 宮本忠夫 え
新日本出版社

テーブル一つのオンボロ食堂「カドヤ食堂」。その
まぼろしのメニュー、「うな丼」。メニューにはたしか
にのっているのに、だれも食べているところを見たこ
とがない。ある日、ぼくは思い切って注文した。「う…
うな丼ひとつ！」すると、食堂のおじさんがジロリと
にらみながら聞いてきた。「ナゾナゾは、とくいかい？」



火曜日のごちそうはヒキガエル

ラッセル・E. エリクソン 作 佐藤涼子 訳
ローレンス・ディ・フィオリ 絵
評論社

ひきがえるのきょうだいのウオートンとモートンは、寒い冬は土の中の家
からは出ません。ある日ウオートンは、カブトムシのさとうがしがあまりに
おいしいので、おばさんに持っていくと言います。雪がつもった寒い外をひ
きがえるが飛び歩くなんで！そこで、厚いセーターを三枚、上着を四枚、手
ぶくろを二つと耳あてぼうしもかぶって行くことにしました。無事に着けるでしょうか。シリーズは全7巻あります。



がんばれ! 金子くん

丘修三 作 石倉欣二 絵
佼成出版社

足がわるくて車いすをつかっている金子^{かねこ}くんのために、ぼくらのクラスは「金子くん当番」というのをつくり、協力^{きょうりょく}して手助け^{てだす}をしている。ところが、新しく担任^{たんにん}になったダイフク先生は、やさしい顔をして、金子くんをいじめてばかり…。まるでオニみたいだ。ダイフク先生は一体^{いったい}どういう気なんだろう。



くまの子ウーフ

神沢利子 作 井上洋介 絵
ポプラ社

「めんどりは、たまごでできてるの」とウーフがいうと、「ウーフは、おしっこでできている」とキツネのツネタはいう。

「おしっこでなんかできていない」と思ったウーフ。ほんとうは、なんでできているのかな? (「ウーフはおしっこでできてるか?」より)。ほかに8つのお話があります。



くろて団は名探偵

だん めいたんてい
ハンス・ユルゲン・プレス 作 大社玲子 訳
岩波書店

せいぎ
正義のみかた「くろて団」のメンバーは、男の子3人と女の子1人、それにリス1ぴき。犯人を追いつめる手ぎわの良さといったら、警察顔負けだ。

くろて団がいども4つの事件。なぞを解く鍵は、絵の中に隠^{かく}れている。さあ、きみも絵をじっくり見ながら、くろて団といっしょに事件のなぞを解いてみよう!



ケイゾウさんは四月がきらいです。

市川宣子 作 さとうあや え
福音館書店

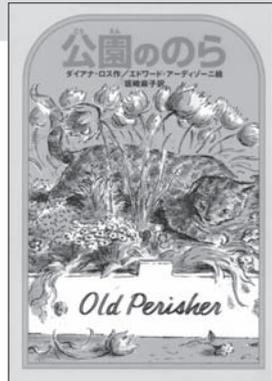
ニワトリのケイゾウさんは、幼稚園の庭にある家に住んでいます。この家にケイゾウさんはひとりで住んでいました。でも四月から、みみこという太ったうさぎといっしょに住むことになり、だいぶきゅうくつになりました。さいしょからケンカばかりしているふたりですが…。



公園ののら

ダイアナ・ロス 作 坂崎麻子 訳
エドワード・アーディゾーニ 絵
徳間書店

ブルムベリーに住む人は、きれいに手入れされた市立公園を、とてもじまんに思っています。ただひとつきれいじゃないものといえば、のらねこののら親分。庭師がしらのモーガンさんは、それですつとなやんでいました。ところがある日、のらがいなくなってモーガンさんは…。



子ブタシープピッグ

ディック・キング＝スミス 作 木原悦子 訳
メアリー・レイナー 絵
評論社

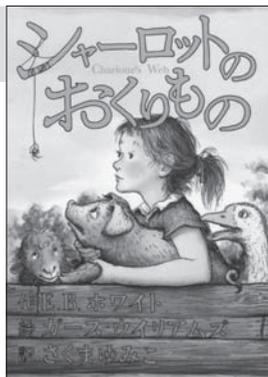
ホギットさんの農園に、もらわれてきた子ぶたのベイベは、イヌのフライに育てられることになりました。ヒツジたちの番をするシープドッグとして、ママのフライが、ホギットさんの役にたっているのを見たベイベは、自分も役にたちたいと「シープピッグ」になるため、勉強をはじめます。



シャーロットのおくりもの

E. B. ホワイト 作 さくまゆみこ 訳
 ガース・ウィリアムズ 絵
 あすなる書房

ファーンは、うまれたばかりでしまつされそうになつたあかちゃんブタを、おとうさんからもらいました。ウィルバーと名前をつけて、毎日ミルクをあげました。農場にはシャーロットというかしていクモが住んでいました。ある日、ハムにされる子ブタをすくうため、シャーロットは「奇跡」をおこします。



ジュディ・モードはごきげんななめ

メーガン・マクドナルド 作 宮坂宏美 訳
 ピーター・レイノルズ 絵
 小峰書店

今日から新学期だというのに、ジュディは朝からごきげんななめです。でも、学校へ行ってみると、となりの席のフランクが、たんじょう会のしょうたい状をくれました。それに、先生がやるうといった「自己紹介コラージュ」はなんだか楽しそうです。シリーズは全6巻あります。



ジョシィ・スミスのおはなし

マグダレン・ナブ 作 立石めぐみ 訳
 垂石眞子 絵 福音館書店

おかあさんのたんじょう日に、プレゼントをかいにいくジョシィは、お金ももたずに出かけました。

ジョシィには計画があったからです。やおや、花や、農場などで、ちょっとしたお手伝いをして、おだちんをもらうつもりでした。



先生、コーチしてあげる!

C・ヘイムスフェルド 作 上田理子 訳
むかいながまさ 絵
文研出版

二週間後の火曜日、ウェストベント小学校で恒例の野球大会がおこなわれます。六年生チーム対先生チームの試合です。でも、ぼくのパーカー先生は野球が苦手です。そんな先生を助けてあげようとコーチになることを思いつきます。「先生、放課後ぼくたちと野球しませんか。」さあ野球の特訓がはじまりました。



そばかすイエシ

ミリヤム・プレスラー 作 齋藤尚子 訳
山西ゲンイチ 絵
徳間書店

主人公イエシは八歳の女の子です。赤毛でそばかす顔、ちょっぴりなまいきで、そのうえとっぴなことを思いつく名人です。この本には、イエシがまきおこす三つのお話が入っていて、どこから読んでも楽しめます。続へんに『もっとそばかすイエシ』があります。



建具職人の千太郎

岩崎京子 作 田代三善 絵
くもん出版

江戸時代の終わりのころ、農夫の子の千太郎は、建具屋に奉公に出されることになりました。まだ七歳でしたが、先にきていた四歳年上の姉のおこうに助けられ、仕事にはげんでいました。棟梁にもみとめられるようになり、千太郎に机を作してほしいと注文もきました。それは、名主様からでした。



チームふたり

吉野万理子 作 宮尾和孝 絵
学研教育出版

ひがししょうたつきゅうぶ だいち しょうがっこうせいいかつさいご し
東 小 卓球部のキャプテン大地は、小学校生活最後の試合で最強のパートナー誠とダブルスを組みたいと思っていたが、五年生の純と組むことになってしまう。その上、学校でも家でも次々と「事件」がおこって、納得のいかないことばかりの大地。しかし、母さんのひとことで大地の心にも変化がおこる。その日から、大地と純は、おたがいがおたがいを守る本物の「チームふたり」となっていく。



チョコレート戦争

大石真 作 北田卓史 絵
理論社

ぼくの町には、きんせんどう という ようがしや
金泉堂という洋菓子屋さんがある。そして、そのお店のショーウィンドーの中には、チョコレートでできたお城がある。ぼくたちがそのお城を見ていた時、ショーウィンドーがわれて、ぼくたちは犯人とまちがわれる。そこでぼくたちは、金泉堂の主人をこまらせようと、あのチョコレートのお城をぬすみだすことにした。チョコレート戦争のはじまりだ。



天使のかいかた

なかがわちひろ 作
理論社

ようちゃんはイヌを、かなちゃんはネコを、のんちゃんはチャボをかっています。でも、さちはなにもかいていませんでした。そんなある日、さちはのはらで天使をひろいました。だけど天使って、どうやってかうんだろう。天使のかいかたのかいてある本って、図書館にあるのかな？



長くつ下のピッピ -世界一つよい女の子-

アストリッド・リンドグレン 作 大塚勇三 訳 桜井誠 絵
岩波書店

スウェーデンの小さい町はずれに、ごたごた^{そう}という、一軒の古い家^{ふる いえ}がありました。この家には、ピッピという世界一つよい女の子が、ニルソン氏というサルと馬^{うま}と一っしょにすんでいます。ピッピは学校に行ったり、サーカスに行ったり。そして、どろぼうをつかまえたり、いろいろなかつやくをします。シリーズは全3巻あります。



バレエをおどりたかった馬

H・ストルテンベルグ 作 菱木晃子 訳
さとうあや 絵
福音館書店

旅のバレエ団に道^{みち}あんないをした、いなかぐらしの馬^{むちゆう}は、お礼に見せてもらったバレエにすっかり夢中^{むちゆう}になってしまいました。そこで馬は、バレエ学校^{がっこう}に入学^{にゅうがく}しようと町へでることにします。馬はすてきなバレエダンサーになることが、できるのでしょうか？



バレエなんて、きれい

ジェニファー・リチャード・ジェイコブソン 作
武富博子 訳 講談社

ウィニー、ヴァネッサ、ゾーイのなかのよい三人組はどこでも一っしょにいた。ある日、ウィニーが宿題^{しゅくだい}を持ってくるのをわすれ、「昼休みのいのこり^{ほつかご}」をやっている時に、ゾーイとヴァネッサは毎週火曜日の放課後^{ほうかご}に行われるバレエ教室^{めいしつ}の申しこみをしたという。火曜日は図書館^{としやかん}に行く日で一番楽しみにしていたのに。今まで、意見^{いけん}がわかれることはなかったのに。ウィニーはがっかりだった。



火のくつと風のサンダル

ウルズラ=ウェルフェル 作 関楠生 訳 久米宏一 絵
童話館出版

もうすぐ7才になるチムにおとうさんは、とくべつなおくりものをするとおっしゃいました。誕生日の日、ろうそくののったケーキのほかに二そくのくつがありました。それをはいて、おとうさんとチムは旅に出かけるのです。もうひとつおとうさんのくれたプレゼントは、チムの新しい名前「風のサンダル」でした。



ふしぎな木の実の料理法こそあどの森の物語

岡田淳 作
理論社

こそあどの森にすんでいるスキッパーのところへ、小包が届きました。南の島へいっているバーバさんが、ポアポアというふしぎな木の実を送ってくれたのです。ところが手紙がぬれていて、かんじんのポアポアの料理法がわかりません。

シリーズは全 10 巻あります。



フランシスカとくまのアントン

ヴィルヘルム・トプシュ 作 齋藤尚子 訳
ダニエーレ・ヴィンターハーガー 挿絵
徳間書店

小さな村に暮らしているフランシスカという女の子がくまと友だちになりました。名前をアントンとつけてあげました。ある日、フランシスカが森へ行くと山賊に出会い、「あしたのお昼までに、金貨五十枚と新品のくまの毛皮をもってこい。」と、言われました。



ぺちゃんこスタンレー

ジェフ・ブラウン 文 さくまゆみこ 訳
トミー・ウンゲラー 絵
あすなろ書房

ある朝目をさますと、ベッドにねていたスタンレーの上にぶあつい板がのって、スタンレーはぺちゃんこになっていました。厚さ1.5センチになって困るかと思ったけれど、ドアと床のすきまを^{とお}通れたり、^{ふうとう}封筒に入って旅行ができたりと、なかなか便利です。



ペニーの日記読んじゃだめ

ロビン・クライン 作 安藤紀子 訳
アン・ジェームズ 絵
偕成社

ペニーは十歳^{さい}の女の子。女の子らしいことより馬が大好き。月曜日に、学校で老人ホームにボランティアに行くことがいやで、なんとかにげだそうとする。でも、そこであったひとりのおばあさんのおかげで、ペニーはかわっていく。続編があります。



ぼくとあいつのラストラン

佐々木ひとみ 作 スカイエマ 絵
ポプラ社

大ききなジイちゃんが死^しんでしまった…。そのお葬^{そう}式の日、ひとりで庭^{にわ}にいたぼくは、(もっとやさしくすればよかった) (もっとあいにいけばよかった) と、ジイちゃんを思うたび、むねがギリギリいたくなった。そのとき、いきなりあいつはぼくのまえにあらわれ「なあ、なにかしてあそばないか?」「おれ、走りてえ…」^いと言った。ぼくは、こたえた。「いいよ。走^{はし}ろう」



ぼくの学校ぼくひとり

宮川ひろ 作 長野ヒデ子 絵
ポプラ社

さくら谷の人口は、たった三十一人。シゲキの家族以外は、みんなおとしよりです。こどもはシゲキ一人で、来年は一年生になります。でも、さくら谷小学校は、閉校したままです。村のみんなは、シゲキが村の学校に通えるようにがんばってくれています。



ぼくの・トモダチのつくりかた

さとうまきこ 作 杉田比呂美 絵
ポプラ社

転校して一週間。だれとも話せず、ひとりごばかり。だれとも遊ばず、図書館ばかり。こんなのって「ぼく」じゃない。ぼくのピンチをすくってくれたのは、うすよごれた古いもうふみたいな大きな茶色の犬。このたったひとりのトモダチが、満月のまほうの夜にね…。



ぼくは王さま

寺村輝夫 作 和田誠 絵
理論社

王子さまが生まれたおiwaiに、国じゅうの人にだすたまごやきをつくるよう、王さまのめいれいができました。大臣はへいたいたちに、ぞうのたまごをみつめてくるようにいいましたが、はたしてみつかるといしょうか(第1話より)。ほかに3つのお話があります。



ほけん室のちーちゃん

和田登 作 福田岩緒 絵
新日本出版社

ちーちゃんが学校を休むようになったのは、三年生のときあたらしいパパがきてからだ。ママはちーちゃんや弟のせわをしてくれなくなったし、クラスのみゆきからはいじめられるようになった。そんなとき、ほけん室の先生がこえをかけた。



まじよ たつきゅうびん 魔女の宅急便

角野栄子 作 林明子 画
福音館書店

魔女の女の子キキは、13歳になった満月の夜に、黒猫ジジといっしょにひとり立ちをしました。ひとり立ちとは、自分の家をはなれ、魔女のいない町や村をさがして、たったひとりで暮らしはじめることです。ほうきにのって南へむかったキキは、ある町に降り、そこで、宅急便をはじめました。



またたびトラベル

茂市久美子 作 黒井健 絵
学研教育出版

迷路のように続く、細い路地のつきあたり、おんぼろ木造二階建てアパートの一階に、小さな旅行会社があります。この旅行会社、ふつうの旅行会社ではありません。どんな変わった旅行会社かって？ それは、来てのお楽しみ。ようこそ、またたびトラベルへ！



まねやのオイラ

森山京 作 小田桐昭 絵
講談社

子ねこのオイラは、ひとのまねをするのが大好きです。まねをして、いろんなことをおぼえていきました。そんなある日、オイラの飼い主であるおばあさんが病気でなくなりまして。そして、おばあさんの家に弟の権三がやってきて、オイラにどろぼうのまねをさせようとしています。いやになったオイラは、旅に出ることにしました。



やねのうかれねずみたち

ジェームズ・マーシャル 作・絵 安藤紀子 訳
偕成社

やねの上でさわぐねずみたちをおいだすため、犬の夫婦はねこにきてもらおうと広告をだします。ところが、やってきたねこは、高い給料をとろうとするのにちっとも仕事をしません。でも、この家にねずみがでることをきくと…。

シリーズは全2巻あります。



りんご畑の特別列車

柏葉幸子 作 ひらいたかこ 絵
講談社

ピアノ教室のかえりの電車の中、ユキの目の前でおばあさんがりんごの皮をむき出した。りんごのあまいにおいがして、ユキが車内をみわたすと、おどろいたことに全員がりんごの皮をむいている。車掌さんが来たときにきっぷを持っていなかったユキは、りんご畑の小さな駅でおろされた。ユキのふしぎな旅がはじまった。



わが家のバイオリンそうどう

シーラ・グリーンウォルド 作 / 絵 小杉佐恵子 訳
大日本図書

ラルフおじさんは、写真家です。アノトラねえさんはバレエ、ピッパねえさんは乗馬の写真集を十歳の誕生日に出しました。写真集はとても売れました。我が家に新しい有名人が生まれるとくべつ重要な十歳の誕生日。ついに、ロージーも十歳。いやいや習っていて下手なバイオリンなのに、その写真集を出すって言い出して…。



オットー -戦火をくぐったテディベア-

トミー・ウンゲラー さく 鏡哲生 やく
評論社

ぼくは、オットー。テディ・ベアです。デビッドという少年の誕生日のおくりものになって、デビッドの親友のオスカーと三人で、楽しい日々をすごしていました。ある日、ユダヤ人だったデビッドは、両親とともに強制収容所におくられてしまいました。



おとうさんのちず

ユリ・シュルヴィッツ 作 さくまゆみこ 訳
あすなる書房

せんそうでなにかもうしなって、とおいとおい東の国にたどりついた。おとうさんは、パンをかいに行ったのに、ちずをかってきた。たべものが少なく、ぼくもかあさんもひもじかった。でもちずを見ていると、ぼくは雪山にのぼり、マンゴーを食ベヤシのこかげでひと休みし、ビルの上に行けた。



おもいだしてくださいあの子どもたちを

チャナ・バイヤーズ・アベルス こうせい・ぶん
おびただす やく おおえかずみち かいせつ
ほるぷ出版

あの子どもたちは、こんな街に住んでいました…。学校にまなび、ともだちとあそんで…。ただどやってきたナチスに、ユダヤ人というだけで、子どもたちは殺されました。今から60年以上もむかし、ドイツで起こされた、ユダヤ人にたいするざんこくな迫害^{はくがい}にあつて命をうしなった子どもたちの写真記録^{きろく}絵本。



原爆の火

岩崎京子 文 毛利まさみち 絵
新日本出版社

昭和20年8月6日、広島に原爆が落とされました。山本さんは、おじいさんの本屋にかけつけますが、あとかたもなく、地下室に小さい炎が残っていました。その炎をもちかえった山本さんは、火を守り続けます。今その火は「平和を守るしるし」として、地球のあちこちに広がっています。



せかいいちうつくしいぼくの村^{むら}

小林豊 作
ポプラ社

美しい村パグマンの春は、すもも、さくらなどの花はなでいっぱい。夏は家族みんなで、かぜにゆれるあんずやすもも、さくらんぼをもぎます。ヤモが、まちへくだものを売りに行くと、戦争で足をなくした人が「パグマンのさくらんぼは世界一」と言ってくれました。ヤモのハルーンにいさんも戦争に行っています。「はやくかえっておいでよ。」とヤモは思います。



トビウオのぼうやはびょうきです

いぬいとみこ 作 津田櫓冬 絵
金の星社

みなみの、おだやかなうみでくらしていたトビウオのおやこ。ところが、あるあさ、とてもこわいものがばくはつしました。うみはゆうやけのようにあかるくなり、白いこなが、うみのいきものたちにふりそそぎました。白いこなをあびたトビウオのぼうやは、びょうきになりました。



猫は生きている

早乙女勝元 作 田島征三 絵
理論社

昌男の家のえんの下に1ぴきのねこが住むようになった。すばやい動きをするので、稲妻という。昌男の母は生まれたばかりの妹、チ子を背負って、空襲警報のたびに防空ごうに飛びこも毎日。そしてある日、焼夷弾が背中にささって昌男の姉である光代が死んだ。戦争のさなか、生きのびていく昌男と猫たちのおはなし。



はらっぱ —戦争・大空襲・戦後…いま—

神戸光男 構成・文 西村繁男 画
童心社

町のかたすみに、ぽっかりあいた小さなはらっぱ。みんなのたのしいあそび場のかわっていくようすが絵本になっています。戦争中、はたけになったり、戦後は、映画会がひらかれたり、何年かたち、まわりに大きなマンションがたちはじめると、ここであそぶ子どもはいなくなります。



ひろしまのピカ

丸木俊 え・文
小峰書店

みいちゃんがかぞくで、朝あさごはんをたべていたある朝、とつぜん、ピカッとおそろしい光ひかりがさしたと思ったとたん、あたりは火のうみでした。おかあさんは、ほのおのなかのおとうさんをたすけだしてせおい、みいちゃんをつれてはしりだしました。8月6日のおはなしです。



ピンク色の雲 -おばあちゃんのヒロシマー-

宇留賀佳代子 文 稲田善樹 絵
てらいんく

おばあちゃんはヒロシマの被爆者ひばくしゃです。今でも戦争のニュースを見るとあのときのことを思い出して涙なみだがとまりません。この本には、世界の若いみんなにむけて、「平和な世界せかいをつくりあげてください」というメッセージがこめられています。



麦畑になれなかった屋根たち

藤田のぼる 文 永島慎二 絵
童心社

戦争中、みなさんの住んでいる近くの武蔵野市むさしの なかじまに「中島飛行機ひこうき」という工場がありました。そこでは戦争のための飛行機が作られていました。1944年11月、そこに爆弾ばくだんが落とされました。それから何日かして、工場の屋根にペンキをぬるためにたくさんのペンキやさんが集められました。まわりの麦畑と区別がつかなくなるように工場の屋根を麦畑色にぬるというのです。



おばあちゃんは木になった

大西暢夫 写真・文
ポプラ社

徳山村は、日本最大のダムができるために消え、村民は街へ引っ越しました。でも「もう少し生まれ育った村で暮らしたい」と戻ってきたお年寄りたち。はつよさんは、「ここには神さまがおるよ」と言います。白黒の写真にそんな山の生活が収められています。

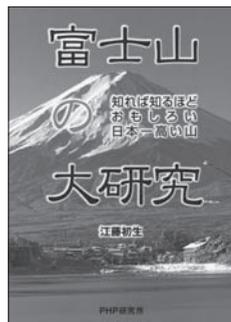


富士山の大研究 —知れば知るほどおもしろい日本—高い山—

江藤初生 著 高田勲 絵 計良モトヒロ CGイラスト
PHP研究所

日本一高くて有名な山、富士山。富士山は、なぜあんなに美しい形なの？富士山が、くずれているってほんとう？富士山が世界遺産に登録されないのはどうして？

昔から日本人に愛されてきた富士山を、自然と文化の両方から描いた富士山の大研究。



ただいまお仕事中 —大きくなったらどんな仕事をしてみたい?—

おちとよこ 文 秋山とも子 絵
福音館書店

大きくなったらどんな仕事をしてみたい？おもちやさんから学校の先生まで、28種類のお仕事たんけんにしゅっぱつ。その仕事をしている人に取材して、仕事のないようと、本当に聞いてみたいQ&Aがのっています。あなたも仕事たんけんしませんか。



まち 町のけんきゅう

岡本信也 / 岡本靖子 文・絵 伊藤秀男 絵
福音館書店

お父さん・お母さん・わたしの3人で、きょうは町のけんきゅうをします。わたしは、商店街の食べもの屋さんでカレーのけんきゅう。カレーライスのねだんや、カレーのかけ方もお店によつちがいます。お父さん・お母さんのけんきゅうは…？けんきゅうはいつでもどこでもできます。



え み れき し 絵で見るおふろの歴史

菊地ひと美文・絵
講談社

おふろにはいるのはすきですか？日本人は温泉も好きですが、毎日はいるおふろもすきですね。この本は、奈良時代から現代まで、さまざまな形に変化してきたおふろをしょうかいした本です。どうくつぶる、蒸気ぶる、豊臣秀吉のおふろ、江戸時代からはじまった銭湯…。わたしたちの生活にかかせない「おふろ」の歴史がわかります。



トイレのおかげ

森枝雄司 写真・文 はらさんぺい 絵
福音館書店

世界中の人々が毎日お世話になっているトイレ。日本であたりまえのウォシュレットは、世界ではめずらしいことだとわかります。人とトイレの長いおつきあいを、歴史をひもときながら写真とユーモラスな絵でたどります。



どうしてわかるきょうりゅうのすがた

工藤晃司 ぶん・え
大日本図書

きょうりゅうは、大むかしにほろんだ^{せいぶつ}生物です。ほんものを見た人はいないのに、どうして、きょうりゅうのことがわかるのでしょうか。きょうりゅうが生きていたしょうこは、化石^{かせき}です。この化石をもとに、きょうりゅうのすがたにせまってみましょう。



いのちのカプセルまゆ

新開孝 写真・文
ポプラ社

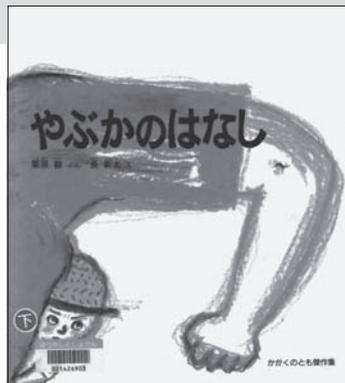
いろいろな^{ちゅう}こん虫のよう虫が、まゆをつくる。まゆの中^{なか}でよう虫はさなぎにへんしんし、さなぎはまゆの中でせい虫になる^ひ日をまっている。まゆはさなぎをやさしくつつんでまもってくれる、いのちのカプセル。ガやハチなどのよう虫が、まゆ^{つく}を作り、せい虫^ととなって^た飛び立^たつまでの^{しゃしん}写真^{かずかず}の数々。



やぶかのはなし

栗原毅 ぶん 長新太 え
福音館書店

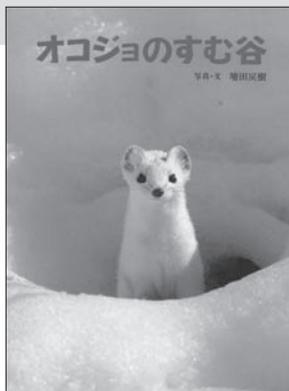
あついまなつにあらわれた、1ぴきのやぶか。めすのやぶかをみつけて、おいかけていきます。やがて、めすは血をさがして人間や犬のもとへ。なぜ、かが人間の血をすうのか？ かのことがよくわかります。



オコジョのすむ谷

増田辰樹 写真・文
あかね書房

オコジョは、手のひらにのるくらい小さな動物です。夏と冬では、毛の色がちがいます。北アルプスの山やまにかこまれた、岩がごろごろしたガレ場にすんでいます。ぼくはオコジョにあいたくて、9年間も北アルプスに出かけて写真をとりました。いろいろなオコジョにあえる写真絵本です。



ノラネコの研究

伊澤雅子 文 平出衛 絵
福音館書店

九州の海辺の小さな町にすむノラネコのナオスケ。どこでも見かけられるような、黒と白のぶちの、しっぽのみじかいオスネコです。著者はノラネコ研究のため、ナオスケの後をこっそりついていきます。さあ、ナオスケは1日どこで何をしているのでしょうか。



棚田を歩けば

青柳健二 文・写真
福音館書店

棚田とは、山の斜面や谷間に、階段のようにつくられた田んぼのことをいいます。コメづくりをとおして棚田の春夏秋冬を、すばらしい写真で紹介しています。また、棚田は日本だけではなく、となりの国韓国や中国、そしてイランやマダガスカルにもあるのです。



「イグルー」をつくる

ウーリ・ステルツァー 写真と文 千葉茂樹 訳
あすなる書房

イグルーって知っていますか。北極地方に住むイヌイットとよばれる人たちの雪の家のことです。北極地方では家の材料になる木が育ちませんが、雪ならまわりにくらでもあります。

雪の家は、ナイフが一本あれば作ることができます。この本ではイグルーのできていく過程が白黒の写真と説明で語られています。



世界のじゃんけん大集合

田中ひろし 著 こどもくらぶ 編
今人舎

なにかを決めるとき、じゃんけんで決めたことはある？じゃんけんのおかげで、むだなけんかをしなくてもすむことがあるんだ。じゃんけんのない国もあるけど、世界にはもっといろんなじゃんけんのやりかたがあるよ。

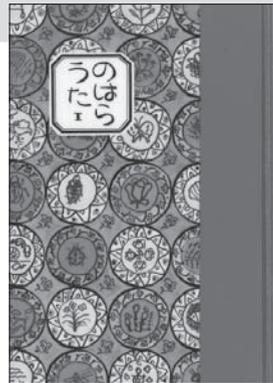


のはらうた 1

くどうなおこ 作
童話屋

ねこをみて、感じることはありますか？のはらにさいているお花をみてはどうでしょう？きっとしらないうちに、ことばにしているのではないのでしょうか。のはらむらの仲間（なかも）の詩がたくさん入っています。

シリーズは全5巻あります。



あほろくの川だいて

岸武雄 文 梶山俊夫 絵
ポプラ社

あらしのあくる日に、川のなかをながれてきたわかいおとこは、目がみえず、どこの村からきたのかもじぶんのなまえもわすれていた。そこで、「あほろく」とよばれるようになる。そんなあほろくに、村のひとたちは、しごとをみつけた。それは、川だいてをうつことだった。



雨ごいの少年ピック —古代マヤのお話—

デイビッド・ウィズネスキー 作 寺岡襄 訳
偕成社

年老いた神官長アフ・キン・マイの新年のおつげは「おそろしい日での年」だった。暗い予言にいらだった少年ピックは、雨の神さまをおこらせるようなことを言ってしまったため、ポッカトックの試合で神さまと戦わなければならないようになってしまった。



アローハンと羊 —モンゴルの雲の物語—

興安 作 蓮見治雄 文・解説
こぐま社

アローハンはある日、うまれたばかりの子羊を見つ^{こひつし}け、ゲルにつれて帰ってミルクをのませ、「愛しいもの」という意味の「ホンゴル」と名づけ^{いみ}ました。その日からアローハンとホンゴルは雲の下^なでともに大きくなり、まるで姉妹^{くも}のようでした。何年か^{なんねん}の年月がながれ、アローハンが結婚^{けつこん}することになった時、父^{とき}さんはアローハンがさ^{どう}びしがらないように、ホンゴルとその子羊たちをいっしょに送り出してくれました。



アンジェロ

デビッド・マコーレイ 作 千葉茂樹 訳
ほるぷ出版

アンジェロじいさんは、古い教会の壁塗りの職人。壁のひび割れをさがしていると、動けなくなっているハトを見つけた。はじめはすてていくつもりだったが、元気になるまで家で手当てしてやった。

やがて、ハトは毎日アンジェロじいさんの仕事場に飛んでくるようになる。



ウエズレーの国

ポール・フライシュマン 作 ケビン・ホークス 絵
千葉茂樹 訳
あすなろ書房

町のほかの子とは、ちがっているウエズレー。ピザもコーラもサッカーも大きい。あたまのりょうがわをつるつるにそりあげるのが常識なのに、かみがたもへんてこ。やがて、ウエズレーは自分の世界を作り出します。



1000の風 1000のチェロ

いせひでこ 作
偕成社

あたらしくチェロの教室にはいつてきた女の子のひかたは、おこっているみたいでした。そしてぼくのひかたを犬の声みたいと言いました。そんなふたりは、大震災復興しえんコンサートに参加することになります。そこには、心にいろいろなきずをもつ人たちが集まっていた。



大森林の少年

キャスリン・ラスキー 作 ケビン・ホークス 絵
灰島かり 訳
あすなろ書房

1918年の冬、ミネソタ州ダルースの町では悪性のインフルエンザがはやって、多くの人が死んでいました。マーベンの両親は、生きのびてほしいという願いから大森林の向こうに住む知り合いに、マーベンをあずけました。帳簿係ちやうぼうがかりの仕事を手伝い、おとなたちと生活しているマーベンは、冒険しているようでした。



でもすきだよ、おばあちゃん

スー・ローソン 文 キャロライン・マガール 絵
柳田邦男 訳
講談社

ぼくのおばあちゃんは、みんなのおばあちゃんとは、ちょっとちがう。ケーキをつくったり、まっかな口くちべにをぬったり、電車でんしゃにのってサッカーを見にいみくことができないい。ぼくのおばあちゃんは、いすにすわったまま外そとをみているだけなんだ。ぼくのおばあちゃんは、自分じぶんのことがわからなくなってしまうた。でも、ぼくはおばあちゃんのことがだいすき。おばあちゃんのことはわすれないよ。



なきすぎてはいけない

内田麟太郎 作 たかすかずみ 絵
岩崎書店

ないてもいい。よわむしでもいい。よわむしはひとのかなしみを おもいやれるから。でも、なきすぎてはいけない。わたしがすきだったのは わらっている おまえだったのだからー。だれもが経験けいけんする大切たいせつな人との「お別れの日」。祖父から孫へのメッセージがこめられた絵本です。



ぶたばあちゃん

マーガレット・ワイルド 文 ロン・ブルックス 絵
今村葦子 訳
あすなろ書房



ぶたばあちゃんは、ながいあいだ孫むすめといっしょにくらしていたのですが、ある朝いつものように起きてきませんでした。つぎの朝、まだよくなっていないのにぶたばあちゃんは「したく」をはじめました。孫むすめは、それがなんのための「したく」かわかっていました。

ぼくたちのコンニャク先生

星川ひろ子 写真・文
小学館



わたしのほいくえんのせんせい、コンニャク先生っていう。せんせいは、生まれたとき、のうせいまひっっていうびょうきになってしまい、しゃべるのもにがてだし、はしることもできない。でも、みんなコンニャク先生となかよし。せんせいとあそんでいると、とってもおもしろい。コンニャク先生〜っ！だあ〜いすき！

ホームランを打ったことのない君に

長谷川集平 作
理論社



ぼくは出口塁、野球の試合で二三振のあとセカンドゴロ。また打てなかった。ぼくは仙吉にはげまされた。野球選手をしていた仙吉は去年交通事故にあい、病院から歩けなくなるかもしれないと言われたらしい。仙吉は言う。「オレ、あきらめていないぞ。」よし、ぼく、いつかホームランを打てるようがんばる。

まつげの海のひこうせん

山下明生 作 杉浦範茂 絵
偕成社

あいつが、ぼくにすなをぶつけたからなみだ^でが出たんだ。ひきょうもの！まけてうんどうじょうにひっくりかえったぼくは、おきなかった。めからなみだ^がわき、まつげ^がぴくぴくふるえ、そのむこう^が海^のように見えた。まつげの海^ににじ色^のさかなのひこうせん^があらわれ、ぼく^がのると、心^ににもつ^がおもいとひこうせん^がいう。



むこうがわのあのこ

ジャクリーン・ウッドソン 文
E.B. ルイス 絵 さくまゆみこ 訳
光村教育図書

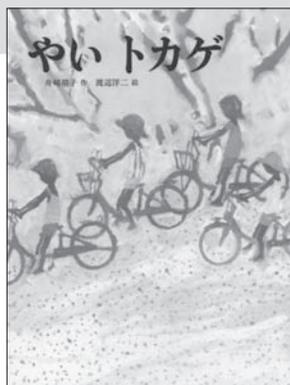
まちをしきるおおきなさく。さくのこっちがわには、わたしたちが、むこうがわには、しろいひとたちがすんでいた。わたしたちは、むこうがわへは、いってはいけなかった。あるなつ、おんなのこがひとり、まいあささくにのぼって、こっちをじっとみていた。そのこはいつもひとりだった。



やいとカゲ

舟崎靖子 作 渡辺洋二 絵
あかね書房

じてんしゃをなくした。やきゅうにさそわれたがいけない。おひさまはぼくのあたまのまうえにあり、一日のはんぶん^をなにしてあそんでいいかわからない。そんなぼく^をだれか^が見^ていた。それは、石の上の一ぴきのトカゲ^だった。



つき リスとお月さま

ゼバスティアン・メッシェンモーザー 作
松永美穂 訳
コンセル

あるあさ、リスはびっくりして目をさました。お月さまがリスのいえにおっこちてきたからです。お月さまがぼくのところにあるのがみつかったら、どろぼうだと思われてつかまってろうやにいれられちゃうよ。お月さまをどこかにやらなくちゃ。そこでリスは…。



わたしいややねん

吉村敬子 文 松下香住 絵
偕成社

わたしが人前にでると、ちゅうもくのまです。みんな、じろじろ見ます。わたしは、見られるのがとてもいやなんです。みんなとおなじ人間なのです。強い心をもつようにいわれたけど、どうしたら、なれるの？



イギリスとアイルランドの昔話

石井桃子 編・訳 J.D. バトン 画
福音館書店

昔話としてゆうめいな「三びきのクマの話」や「三びきの子ぶた」「ジャックとマメの木」をはじめ、おばあさんとひろったほねのちよっぴりこわい話「ちいちゃい、ちいちゃい」など、イギリスの昔話が22作、アイルランドの昔話が8作紹介されています。

語りをするときにも、よくつかわれる本です。



いたずらおばあさん

高樓方子 作 千葉史子 絵
フレーベル館

エラババ先生は洋服研究家のえらい先生ですが、84歳のおばあさん。特別講義をききにきたヒョコルさんを家に招待して、自分が発明した一枚着ると一歳若くなる服を見せました。エラババ先生とヒョコルさんはそれぞれ何枚も服を来て、8歳の子どもになりました！8歳になったふたりがしたことは…？



ウソがいっぱい

丘修三 作 ささめやゆき 画
くもん出版

ついウソをついて、いつもお母さんにおこられているリュウ。でも、お母さんだってウソをつく。しかも、それは良いウソだという。ウソに良い・悪いがあるの？いつもサッカーを教えてくれるオカマのバブちゃんに相談したら、「自分にウソをついちゃいけない」といわれた。自分にウソをつくってどうということ？ウソっているいろいろむずかしい。

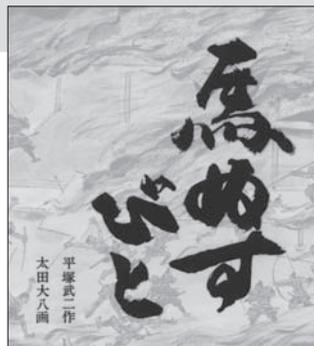


馬ぬすびと

平塚武二 作 太田大八 画
福音館書店

九郎次は少年の頃、岩手山で見かけた野馬に心ひかれ、ひそかに「九郎」と名づけた。数年後、つかまえられた九郎を逃がすために九郎次がとった行動は…。

建久三年の夏のはじめ、鎌倉の西の「親しらず山」とよばれていた丘のふもとで、馬ぬすびととしてとらえられた九郎次の物語。



おばあちゃんのたんじょう日ばこ

シャロン＝ベル＝マティス 作 中村妙子 訳
ディロン夫妻 絵
偕成社

デューおばあさんは100才。むかし、おじいさんにプレゼントされたたんじょう日ばこをだいにしています。毎年たんじょう日があると一枚ずつ入れた銅貨には、おばあさんの過去の思い出がこもっています。マイケルは、おばあさんが好きで、おかあさんが古いたんじょう日ばこをすてようとする、はんたいしますが…。



がんばれヘンリーくん

ベバリイ・クリアリー 作 松岡享子 訳
ルイス・ダーリング 絵
学研教育出版

ヘンリーくんは、小学校三年生。なにかあつというようなことがおこらないかなあ…。ヘンリーくんはよくそう思っていました。ところがある日、まちかどでやせこけた犬を拾い、こっそりバスにのせて家まで帰ろうとしましたが、とちゅうで犬が暴れだして大さわぎに。その日からヘンリーくんのまわりでつぎつぎゆかいなじけんがおこります。シリーズは全9巻あります。



くまのパディントン

マイケル・ボンド さく 松岡享子 訳
ペギー・フォートナム 画
福音館書店

パディントン駅にへんでこな帽子をかぶったくまが座っていました。首につるした札には「どうぞ、このくまのめんどうを、みてやってください。おたのみします。」と書いてありました。ブラウンさんは「パディントン」と名前をつけて家につれて帰ります。パディントンはいろいろな騒動をまきおこしますが、いつも最後はうまくいきます。シリーズは全10巻あります。



くらやみ城の冒険 ミス・ビアンカシリーズ 1

マージェリー・シャープ 作 渡辺茂男 訳
 ガース・ウィリアムズ 絵
 岩波書店

とても美しい白ねずみミス・ビアンカと勇敢な下士官ねずみのニルス、そして沈着冷静な家ねずみのバーナードの三びきは、くらやみ城の地下牢に囚われている詩人を助けるという仕事をひきうけ、冒険の旅にでます。シリーズは全7巻あります。



クロードアの秘密

E. L. カニグズバーグ 作 松永ふみ子 訳
 岩波書店

クロードアは、お金をためこんでいる弟をさそって家を出します。行く先は、ニューヨークのメトロポリタン美術館。ここでは、子どもがまいにち千人以上やってくるので二人は目立たないし、美術品のベッドで眠れます。順調にこっそりと生活する二人は、ミケランジェロ作とされる天使の像にひきつけられ、そのなぞを解こうとします。



ケンスケの王国

マイケル・モーパールゴ 著 佐藤見果夢 訳
 評論社

ヨットで世界一周航海に船出した、ぼく・父さん・母さん、そして犬のステラ・アルトワ。ところがある日、南の海でぼくとステラは遭難してしまった。助けてくれたのはオランウータンと孤島に住む変わったおじいさん。彼は元日本兵で、名前はケンスケといった。ケンスケはオランウータンのくモダチ>と、何十年もずっと一人でこの島に住んでいた。



サイテーなあいつ

花形みつる 作 垂石眞子 絵
講談社

四年生になって最初の席決め。カオルが引いたクジには<ソメヤノリオ>。クラス中がサイテーと思ってるソメヤのとなりになってしまった。<ツバとばし>が武器で泣き虫で、ハナクソくっつけてくるソメヤ。サイテーの一学期がスタートしたと思っていたカオルだったが、しだいにソメヤに対する気持ちは変わっていった。



シノダ!チビ竜と魔法の実

富安陽子 著 大庭賢哉 絵
偕成社

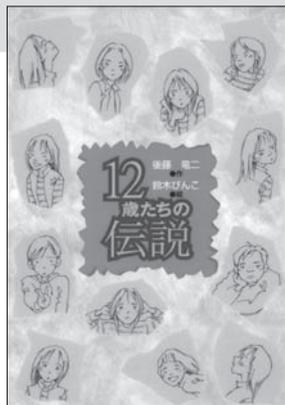
信田家はパパとママ、子ども3人の5人家族。いっけんごくふつうの一家だが、じつはだれにも知られてはいけない重大な秘密があった。それは、ママの正体がキツネだということ。人間のパパとキツネのママ、そしてキツネの血をひく三きょうだいには、いつもふしぎな災難がふりかかる。シリーズは全5巻あります。



12歳たちの伝説

後藤竜二 作 鈴木びんこ 絵
新日本出版社

霧島あいのいる六年一組は、パニック学級と呼ばれ、五年生のときから何人も先生がいれかわっていた。始業式の時、校長先生が紹介した新しい先生は、若い女の人で、はずかしそうにもじもじしていた。あいが、ドキドキしながら待っていると、教室に入ってきたのは、なんと大きなゴリラのぬいぐるみだった。みんなは、いっせいにふり返った。シリーズは全5巻あります。



少年たちの夏

横山充男 作 村上豊 絵
ポプラ社

わがししょくにん でんきや びじゆつ
和菓子職人、電気屋、中学の美術の先生になつた3人が20数年ぶりに会うことになりました。3人の友情の絆は6年生の夏休みにいかだを作ってしまんとがわわた ぼつけんをしたことがきっかけでした。川を渡る時、渦の中をひとりずつ超えていく場面は、手に汗にぎる緊張感があります。



すみ鬼にげた

岩城範枝 作 松村公嗣 絵
福音館書店

いまから、三百年あまり前のこと。仕事を終えたヤスが、お堂の前をとおりがかかると、肩で隅木をささえながらこぶしをひざにおき、隅尾垂木の上いきちんと正座をしたまま泣いているすみ鬼がいた。すみ鬼の役目は、お堂のすみで屋根をささえ、疫病や魔ものからお堂を守ること。すみ鬼は九百年ものあいだ、ここで柱をささえていたという。



それいけズッコケ三人組

那須正幹 作 前川かずお 絵
ポプラ社

トイレの中で勉強することがやみつきになっているハカセ(山中正太郎)が、今日もトイレで百科事典を見ていた。そこへ、家のドアが開き知らない人の声が出た。ドロボウがしん入したのだ。さあどうする! そのころモーちゃん(奥田三吉)とハチベエ(八谷良平)は、ハカセの家のトイレの窓から下りてくる白いものを見ていた。シリーズは全50巻あります。



だいあもんど

長崎夏海 作 佐藤真紀子 絵
新日本出版社

サラは小6。みんなは^{しゅうだんどうこう}集団登校だけど、サラは半年前から^{こじん}個人登校。自分でそうきめたから。バトル^{なかも}仲間のカイト、^{じっきょうちゅうけい}実況中継のときんがいつも遊ぶメンバー。ある日、3人でたき火をしていると、「おれさ、転校すんだ」と、カイト。みんな、バラバラ？



たたみの部屋の写真展

朝比奈蓉子 作
偕成社

タモツとユウイチは、村はずれの古い民家を見つけた。そこは、^{あや}空き家らしく、^ほふたりは池を掘ってカメを飼うことにした。ユウイチが^{もうちょうえん}盲腸炎で学校を休んでいるとき、タモツがカメをみにいくと、とつぜん女の人に声をかけられた。この家の^{やぬし}家主が帰ってきたらしい。そしてもうひとり、おばあさんがでてきて、タモツのことを「とおる」とよんで近づいてきた。



旅のはじまり 黒ねこサンゴロウ 1

竹下文子 作 鈴木まもる 絵
偕成社

ひとり旅の好きな男の子、ケンはやなぞの宝をさがすサンゴロウという名の黒ねこに出会った。サンゴロウといっしょに、^{うしな}失われたうみねご族の宝を見つけることになったが、手がかりはぼろぼろになった紙に書かれた地図だけ。宝はほんとうにあるのだろうか。シリーズは全5巻あります。



だれも知らない小さな国 コロボックル物語 1

佐藤さとる 作 村上勉 絵
講談社

とりもちを作るもちの木をさがしに峠の近くまでいったぼくは、こんもりした小山や杉林にかこまれた三角形の平地に出た。小さいすみがわいていて、もちの木もあった。そこを、ぼくだけの秘密の場所にして、一人で遊びにきた。ある日知り合いのおばあさんに会った。おばあさんは、むかしこのかいわいに、小さい小さい人の“こぼしさま”がいたという話をしてくれた。シリーズは全5巻あります。



チョコレート工場の秘密

ロアルド・ダール 著 柳瀬尚紀 訳
クエンティン・ブレイク 絵
評論社

チャーリーが住んでいる町に、世界一広大で、世界一有名なワんカのチョコレート工場がある。働く人たちの姿をだれも見ることがない、ナゾの工場。そこへ、五人の子どもたちが招待されることになった。招待状の入ったチョコレートは、世界にたったの五枚。大騒ぎになったけれど、一年に一度、誕生日に、一枚だけチョコレートを口にできる、貧しいチャーリーには望みがなくて…。



つくも神

伊藤遊 作 岡本順 画
ポプラ社

ほのかが学校から帰ってくると、マンションのエレベーターの中に、こわい顔をした奇妙な置物があった。しかしお母さんやお兄ちゃんを呼んでくるとそれは消えてしまっていた。それ以来次々と不思議なことが起こる。

長い時を経て魂を宿した道具たち、<つくも神>の物語。



つづきの図書館

柏葉幸子 作 山本容子 絵
講談社

田舎の図書館でおこった不思議な出来事です。ある日、はだかの王様が絵本の中から出てきて、司書の桃さんに「青田早苗ちゃんのつづきが知りたいんじゃない！」と言います。本のつづきではなくて青田早苗ちゃんのつづき？はだかの王様が目の前に！桃さんはびっくり！わけがわかりません。はだかの王様の次は狼が登場！



トモ、ぼくは元気です

香坂直 著
講談社

ぼく、松本和樹は小学校最後の夏休みに、罪人として祖父母の家に預けられることになった。障害のある兄、トモをめぐって家で問題をおこしたのだ。

関西弁のとびかう浪速の商店街で、和樹は特別な夏休みをすごすことになった。



ドリトル先生アフリカゆき ドリトル先生物語全集 1

ヒュー・ロフティング 作 井伏鱒二 訳
岩波書店

医学博士ジョン・ドリトルは、オウムのポリネシアから動物話を教わり、獣医となりました。ある日ドリトル先生は、サルの仲間におそろしい疫病がはやっている話を聞き、サルたちを病気からすくうために、アヒルのダブダブや犬のジップ、子ブタのガブガブらを連れてアフリカに向かいます。

シリーズは全12巻あります。



トレッリおばあちゃんのスペシャル・メニュー

シャロン・クリーチ 作 せなあいこ 訳
評論社

あたしは、ロージー。十二歳の女の子。ベイリーはとなりに住んでいる一週間ちがいで生まれた、おさななじみの男の子。きょうだいよりもなかがいい。だから、ベイリーの目が見えないことに気づいたときは、とっても悲しかった。そんなときは、いつもトレッリおばあちゃんが、とっておきの料理をつくって、はげましてくれる。自分が体験したいろいろな話をおりませながら。



はっくつや 発掘屋おフミさん

あかね・るつ 作 長野ヒデ子 絵
新日本出版社

ツミキは小学五年生。大阪にいるおばあちゃんはアパートで一人ぐらしをしている。遺跡の発掘いせきが趣味で、日本各地をとびまわっている。ツミキの小学校のとなりで、発掘作業がはじまったのだが、どうやら、おばあちゃんがそこへ来るらしい。



はてしない物語

ミハエル・エンデ 作 上田真而子 / 佐藤真理子 訳
岩波書店

バスチアンは古本屋で見つけた「はてしない物語」を読んでいた。自分は読者だと思い込んでいたが、本を読み進むうちに、バスチアン自身が「はてしない物語」の登場人物になっていることを感じる。こういうことが、はてしなく起きる。

「月の子！今ゆきます！」バスチアンは現実の世界から、モンデンキント本の世界へ。アトレューユとの冒険物語がはじまります。



まほう ハロウィーンの魔法

ルーマ・ゴッデン 作 渡辺南都子 訳 堀川理万子 絵
偕成社

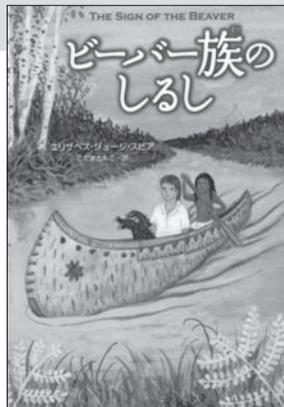
セリーナが愛馬ハズキと一緒にマックじいさんをたすけたことからお話ははじまります。ミヌーク村ではエミリー大叔母さんが寄付した遺産で公園をつくる計画がたてられました。しかし、へそまがりなマックじいさんは土地を提供しようとしません。そこで、セリーナはハロウィーンの夜、魔法使いになって、マックじいさんをいいひとにかえようとしています。



そく ビーバー族のしるし

エリザベス・ジョージ・スピア 著 こだまともこ 訳
あすなる書房

1968年の春、マットと父さんはこの森に住む最初の白人として、マサチューセッツ州のクインシーから引っ越してきた。ふたりは木を切って、土地を切りひらき、丸太小屋を建てた。父さんは母さん達を迎えに戻り、マットは家族が戻るまでひとりぼっちで小屋を守るようになった。ある日、マットはインディアンの老人と少年に危ないところを助けられる。少年の名前はエイティアンといった。



ヒルベルという子がいた

ペーター＝ヘルトリング 作 上田真而子 訳
偕成社

ドイツ語のヒルンとは脳とか知能の意味。ヴィルベルトは渦とか混乱。そこから、カルロッターはヒルベルというあだ名でよばれ、手に負えない引き取り手のいない子どもたちがぐらす施設にいた。初対面のマイヤー先生に、自分のおしっこをひっかけたパンツを投げるヒルベルは、どんな子なんだろう。



不思議を売る男

ジェラルディン・マコーリアン 作 金原瑞人 訳
佐竹美保 絵
偕成社

エイルサが図書館で出会った男は翌日から、彼女の母親の古道具店で働くことになった。MCCと名のり、年齢も本名もわからない男を、はじめは不審に思っていたエイルサ親子だったが、彼が商売のために語る、古道具に関する不思議な話にひきこまれていく。



ベロ出しチョンマ

斎藤隆介 作 滝平二郎 絵
理論社

千葉の花和村の神社の縁日で、「ベロ出しチョンマ」という人形が売られている。背中の輪をひくと、舌を出しておもしろい顔をする。しかし、この人形には長松とウメという兄と妹にまつわる悲しい話があった。ほかに14のお話があります。



冒険者たち —ガンバと十五ひきの仲間—

斎藤惇夫 作 荻内正幸 画
岩波書店

ドブネズミのガンバは、ねぐらで静かな時間をすごしていました。仲間のマンブクから海にいこうとさそわれてもり気ではなかったのですが、すぐ帰るつもりで船乗りネズミの集まりにでかけました。そこで、夢見が島のネズミたちがイタチのノロイ一族におそわれ、助けを求めているという話をきいたのです。シリーズは全2巻あります。



ぼくらのサイターの夏

笹生陽子 作 やまだないと 絵
講談社

ぼくは、六年生最後の夏休みの直前に、けがをす
るといいたいへんな目にあってしまった。高学年男
子の間で、はやっている〔階段落ち〕というゲームで、
手首のねんごと前歯を一本折るはめに。でもそれは、
サイアクな夏のはじまりでしかなかった。



ミラクル・ファミリー

柏葉幸子 著 徳永健 画
講談社

「うちのお父さんも、お父さんではなくて子どものときが
あって、そのときのお父さんは…」って思うと、なんだか変
な気がしませんか。実は、ためきだったらしいお父さんのほ
なし。お父さんの初恋^{はつこい}の人が「春」というはなし。父はコブ
ラ。コブラが、宿敵マンガースを一度だけ泣かしたはなし。

不思議であたたかな「家族のおはなし」の短編集。



モギ ちいさな焼きもの師

リンダ・スー・パーク 著 片岡しのぶ 訳
あすなる書房

モギは、韓国の小さな村チュルポの橋の下で、トゥ
ルミじいさんと暮らしている。ごみ捨て場で食べもの
をあさるような生活をしてきたモギだったが、村の名
焼きもの師と出会い、見習いとして働くようになった
ことから、その運命は大きく変わる。



夕ごはんまでの五分間

イヴァ・プロハースコヴァー 作 平野卿子 訳
ヴァーツラフ・ポコルニー 絵
偕成社

バベタは夕ごはんまでの五分間に、パパにお話をしてくれるようたのみました。こまっているパパに、バベタはどんなお話でも五分でおわらせることができるのだといいますが、パパが話しはじめたお話とは…？



幽霊屋敷貸します

富安陽子 作 篠崎三朗 絵
新日本出版社

季子^{ときこ}たち家族が住むこんどの家は、りっぱな庭つきのお屋敷。父さんと母さんはうきうきしていますが季子はなんだかイヤな予感がします。引越^{ひっこ}してきてみると、なんとそこにはおばさんの幽霊^{ゆうれい}が！「この家に住むのにふさわしい人が三つのテストをする」というのですが…。



床下の小人たち

メアリー・ノートン 作 林容吉 訳
岩波書店

ケイトが^あ編^{ぼう}み棒^かをなくしたことをメイおばさんにいうと、メイおばさんは借り暮らしのひとたちの話をしてくれました。家のどこかに住んでいて、いろいろなものを借りていく<ちいさい人たち>。けっして家の人に姿を見せないけれど、メイおばさんのおとうとは、見たばかりでなくなかよしになったことがあるというのです。シリーズは全5巻あります。



ライオンと魔女 ナルニア国ものがたり 1

C.S. ルイス 作 瀬田貞二 訳 ポーリン・ベインズ 絵
岩波書店

四人きょうだいが、戦争^{せんそう}をさせて片田舎^{かたいなか}に疎開^{そかい}したときにおこったお話です。大きなやしきを探検^{たんけん}することになり、ルーシィが毛皮^{けがわ}のかかった衣装^{いしやう}だんすの中に入ってみると、毛皮^{けがわ}のむこうには雪景色^{ゆきけしき}がひろがっていました。それが、四人のふしぎな冒険^{ぼうけん}のはじまりでした。シリーズは全7巻あります。



リトルベアー -小さなインディアンの秘密-

リードバンクス 作 渡辺南都子 訳 高橋由為子 絵
小峰書店

オムリは、パトリックから誕生日プレゼントに、プラスチックの小さなインディアン人形をもらった。戸だなにしまいカギをかけた。夜、ねむりにおちかけたとき小さな音が聞こえ、朝、その音で目をさました。戸だなの中に人形はなく、小さなインディアンが座っていた。生きたインディアンがいるのだった。シリーズは全3巻あります。



ルドルフとイッパイアッテナ

斉藤洋 作 杉浦範茂 絵
講談社

ぼくはルドルフという名のねこだ。トラックで知らない町へいき、おりたところで大きなトラねこに声をかけられた。

名まえがいっぱいあるというそのねこを「イッパイアッテナ」とよぶことにした。のらねこたちの友情のお話。シリーズは全3巻あります。



レアといた夏

マリー・ソフィ・ベルモ 作 南本史 訳 中村悦子 絵
あかね書房

ローズは十三歳^{さい}になったばかりの女の子。夏休みの三週間を、ママの友だちアンジェールのいる島^すで過ごすことになった。アンジェールの娘^{むすめ}のレアは、ローズと同じ年だが、言葉がうまくしゃべれない。ローズの心^{こゝろ}は灰色だった。ローズが島の断崖^{たんがい}に立って大声でさけんでいると、釣りをしていた男の子がローズに近づいてきた。



ろうかのいちばんおくの教室は

ダグラス・エバンス 作 清水奈緒子 訳
ラリー・ディ・フィオリ 絵 横川ジョアンナ 装丁絵
PHP研究所

ウォルター・T・メロン小学校のいちばんおくの3年生の教室。そのクラスには、いたずらっ子のロジャー、図工がきらいなチャーリー、いつもつくえの中がぐちゃぐちゃのエミリーなどいろいろな子どもがいる。でも、それぞれが教室で自分を発見^{まほう}することになる。魔法、おばけ、なんでもありの教室だよ。



ローワンと魔法の地図

エミリー・ロッド 作 さくまゆみこ 訳 佐竹美保 絵
あすなる書房

リンの谷を流れていた水が止まり、川の水しか飲まない^{かたく}家畜のバクシャーは、日に日に弱^まってくる。謎をとくため、勇気のある村人が、水源のある魔^まの山に向かうことになった。その中に内気で臆病^{おくびょう}な少年ローワンもいた。ローワンがさわった時だけ、白紙の巻物に地図が現れるからだった。ローワンの冒険が始まった。シリーズは全5巻あります。



いわたくんちのおばあちゃん

天野夏美 作 はまのゆか 絵
主婦の友社

いわたくんちのおばあちゃんは、ぜったいに家族といっしょに写真をとりません。4年生のぼくは、その理由を知っています。それは、この前の「平和学習」の時間。ぼくたちの小学校は広島にあって、原爆が爆発したところからいちばん近い学校です。学校の体育館でいわたくんのお母さんとおばあちゃんは、一枚の古い写真を見せながら、ぼくたちにお話をしてくれました。



絵で読む広島^{げんぱく}の原爆

那須正幹 文 西村繁男 絵
福音館書店

24cm × 60cm の空間に、原爆が落とされる前の広島、そして、8月6日午前8時16分その時と、それからの広島^{げんぱく}の街の風景や人々の暮らしが再現され描かれています。その頃の歴史、核兵器の原理、人体への影響などについても知ることができます。視覚と知識でヒロシマを見てみましょう。



エリカ奇跡のいのち

ルース・バンダー・ジー 文
ロベルト・インノチェンティ 絵 柳田邦男 訳
講談社

みなさんは、今から66年前のドイツで、ヒトラーによってたくさんのユダヤ人が殺されたことを知っていますか。

このお話は第2次世界大戦^{だいにしせきたいせんちゅう}中のドイツ^{きせきてき}で奇跡的に^{じよせい}生きのびた、ひとりの女性エリカの物語です。



かこいをこえたホームラン

ケン・モチツキ 作 ドム・リー 絵 ゆりよう子 訳
岩崎書店

だいにじせかいたいせん
第二次世界大戦中のアメリカでぼくら日系人
は、強制収容所に送られた。自由のない生活の中
で、ある日、ぼくのとうさんは「ここに野球のグラ
ランドを作ろう」といった。みんなであれ地を整備して、かあさんはマットレス
のカバーをはいでユニフォームをつくってくれた。ぼくは野球がうまくなかった
が、年のくれの決勝戦の日…。



ガラスのうさぎ

高木敏子 作 武部本一郎 画
金の星社

にのみや えんごそかい
二宮で縁故疎開をしていた敏子は、昭和20年3月10
日、東京大空襲で母と二人の妹をなくす。その四か月後
に東京へ戻り、自分の家の焼け跡から、半分以上とけて
いるガラスのうさぎの置物を見つけた。敏子は空襲の激
しさを感じた。その後の空襲で父も死に、ひとりぼっち
になった敏子は、消息がわからない兄を待つことにした。



彼の手は語りつぐ

パトリシア・ボラッコ 文と絵 千葉茂樹 訳
あすなる書房

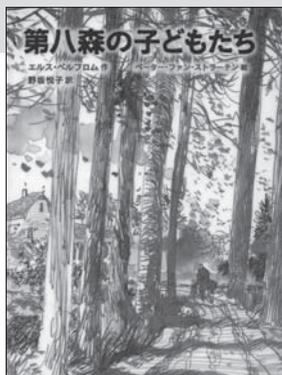
白人のシェルダンと、黒人のピンクスは、アメリ
カの奴隷制度の廃止をめぐる南北戦争の戦場で出
会った。「たとえ奴隷でも、自分の本当の主人は自
分以外にはいない」と自分のための戦争と言って殺
されてしまったピンクスのことを、シェルダンは娘
に語った。決して忘れないために語りつぐのだった。



第八森の子どもたち

エルス・ペルフロム 作 野坂悦子 訳
ペーター・ファン・ストラーテン 絵
福音館書店

第二次世界大戦末期の1944年9月、オランダのアムネルで激しい戦闘があり、アムネルの全住人10万人以上の人々が町をはなれたという事実があります。主人公の少女ノーチェも父と二人でたどりついた農家で疎開生活をします。そこで、ユダヤ人や脱走兵、ドイツ兵も受け入れる農家の人たちと「戦争」を見つめます。



バスラの図書館員 -イラクで本当にあった話-

ジャネット・ウィンター 絵と文 長田弘 訳
晶文社

アリアさんは、イラクという国の港町、バスラの図書館員です。図書館には本を愛するひとたちがあつまってきます。そんなバスラの町を戦争がおそいました。戦火から図書館の本をまもろうと、アリアさんは町の人みんなに手伝ってもらい、3万冊の本をはこびだしました。図書館が燃えおちたのは、その9日後でした。



バーバラへの手紙

レオ・メーター 著 上田真而子 訳
岩波書店

ナチスに逮捕され、ロシアに送られた著者のレオ・メーターが、その地から4歳のむすめバーバラに送った絵入りの手紙をまとめたものです。

著者の住む町のような人やびとのくらしのこと、夢にでてきた動物の物語などが絵とともに紹介されています。



ぼくがバイオリンを弾く理由

西村すぐり 作 スカイエマ 絵
ポプラ社

「うそだ……。」

バイオリンコンクールの審査結果がはりだされた掲示板に、カイトの名前はなかった。いつもどおりに演奏できた自分が落ちたことにショックをうけ、絶望したカイトは、バイオリンをやめる決意をする。だが、1枚の楽譜との出会いがカイトの運命に変化を…。少年バイオリニストのひと夏の成長物語。



マヤの一生

椋鳩十 著 吉井忠 画
大日本図書

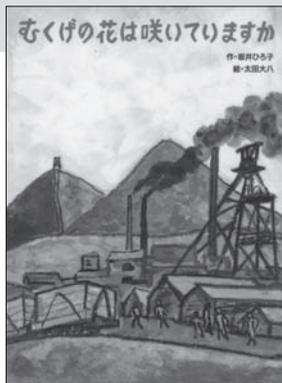
熊野犬のマヤは生まれてまもないころ、わたくしの家にやってきました。マヤはほんとうにりこうな犬で、わたくしたち家族の一員でした。ニワトリのピピ、ネコのベルとも仲よしでした。のびやかに暮らしていたわたくしたちでしたが、いつかはげしい戦争にまきこまれていました。そして、犬を飼っているのはぜいたくだと、飼い犬の処分の通知が来ました。



むくげの花は咲いていますか

坂井ひろ子 作 太田大八 絵
解放出版社

いくら田んぼを耕しても食べていけず、日本の炭鉱の仕事はかせげると言われた。石炭は日本にとって重要な燃料で、炭鉱から掘り出すために、日本の植民地朝鮮からたくさんの男がこさせられた。昭和18年頃、金判男も朝鮮から来た。現実には、乱暴や暴行、かせぎは支払われないというものだった。その彼を支えたものは、



ヨーンの道

下嶋哲朗 文と絵
理論社

「ヨーン」とは、^{おきなわ}沖繩・^{いしがきしま}石垣島のことばで「夜」という意味です。そして、石垣島には《ヨーンの道》と呼ばれる、昼でも暗い道がありました。

みそやのばあちゃん（^{みやらさち}宮良幸さん）が、話してくれた戦争前後の時代の《ヨーンの道》についてのお話です。



リスの目 -フィンランドからスウェーデンへ。北欧にもあった学童疎開。-

ベロニカ・レオ 作 木村由利子 訳 奥田継夫 解説
ほるぷ出版

戦争になって、^{せんそう}住んでいた町が^す爆撃をうけたため、わたしはフィンランドからスウェーデンへ疎開することになりました。疎開先の家は、大きく、^{おなじとし}同じ年のアンナという子もいました。すきだった学校へも^{がっこう}行けるようになりましたが、^い思っていたほど、^{たの}楽しくはなりませんでした。



ぼくらの地図旅行

那須正幹 文 西村繁男 絵
福音館書店

鉄道の中辻駅から野浜の岬の灯台まで、^{てつどう}地図をたよりに行くことになった小学生のシンちゃん^{ちす}とタモちゃん。

地図記号や^{ちすきごう}等高線・^{どうこうせん}磁石をたよりに灯台をめざすが、^{じしゃく}途中でほそいみちにまよいこんだり、^{とちゅう}崖^{がき}ぺきにぶつかってしまったり。ふたりはぶじ灯台にたどりつくでしょうか？



ぼくの見た戦争 —2003年イラクー—

高橋邦典 写真・文
ポプラ社

2003年3月。アメリカとイラクーが、戦争になるかもしれない緊張感が、高まりつつありました。

この本は、そんな時、アメリカ軍と行動をとともにして、アメリカ人兵士や、イラクーの人々の様々な写真と撮り続けた日本人カメラマンの記録です。



ぼくのものがたりあなたのものがたり —人種についてかんがえよう—

ジュリアス・レスター 文 カレン・バーバー 絵
さくまゆみこ 訳
岩崎書店

人間はだれでも、ものがたりをもっている。あなたのものがたりは、どんなふうにはじまる？ だれのものがたりにも、たくさんの人や、たくさんのできごとが、つまっている。お父さんお母さんの名まえ、生まれたばしょや、すきな食べもの、すきな色。ものがたりに入ってくることは、まだほかにもある。それは人種とか、はだの色。「わたしの人種は、ほかの人種よりすぐれている」これは、ほんとうかな？



ミイラになったブタ —自然界の生きたつながり—

スーザン・E・クインラン 著
ジェニファー・O・デューイ 絵 藤田千枝 訳
さ・え・ら書房

29頭のトナカイは、えさがたっぷりあり、彼らをおそう生き物がいない島に放され19年後には6千頭以上に増えた。ところがその三年後には、42頭になってしまった。病気は考えられない。原因は何か。自然のつながりを知る14のはなし。



せかい とり す ほん 世界の鳥の巣の本

鈴木まもる 著
岩崎書店

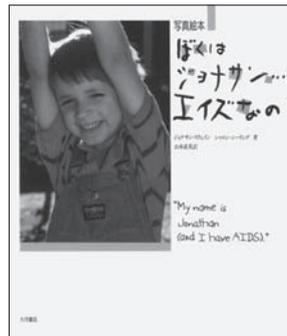
鳥は卵を産むとき巣をつくります。卵をまもり、ひなをぶじに育てる場所が「巣」です。巣を作る場所も、木の上、あなの中などいろいろ。形もさまざま。世界の9,000種以上の鳥が、それぞれの環境に適応して暮らしています。巣をつくらぬ鳥もいれば、他の鳥の巣に卵を産んで世話をさせる鳥もいます。きれいなイラストで、たくさんの鳥と卵を紹介しています。



ぼくはジョナサン・・・エイズなの

ジョナサン・スウェイン / シャロン・シーリング 著
山本直英 訳
大月書店

生まれてすぐの輸血によって、エイズにかかったジョナサンの写真集。はじめは学校へ行けなかったジョナサンが、学校に行くことをみとめられて、クラスの友だちに話した自分のこと。「エイズとはどんな病気なのか？」がわかります。



みみずのカー〇 -シェーファー先生の自然の学校-

今泉みね子 著 中村鈴子 画
合同出版

南ドイツ、ライン川のほとり、ブドウ畑がひろがる丘のふもとの小学校は、ちょっとかわっています。たとえば、この小学校には、ゴミ箱がたった一つしかないのです。そして、みみずが大活躍をしている学校なのです。



どんな草でも紙になる —植物せんいのふしぎ—

大西秀夫 文と写真
大日本図書

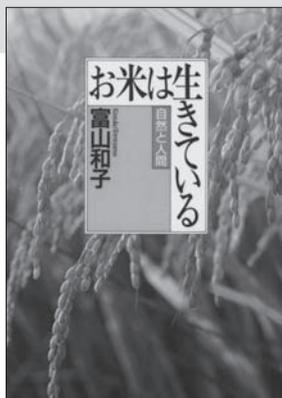
どんな草でも紙をつくることができる？こんなざもんに対して、道ばたに生える草木や野菜などからせんいをとり出し、紙を実際に作っていく。その過程を写真入りで分かりやすく解説し、紙づくりのポイントを明らかにする。



お米は生きている —自然と人間—

富山和子 著
講談社

日本人はお米をたくさん食べます。毎日のごはんのほかにもおせんべいやおもち、お酒など日本人の生活にはかせません。日本以外のくにも、お米はつくられています。お米はどこからきたのでしょうか。

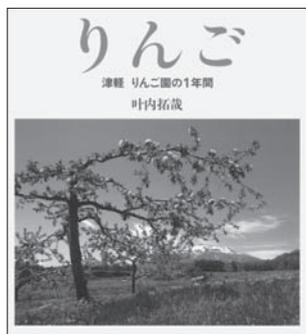


りんご —津軽りんご園の1年間—

叶内拓哉 写真・文
福音館書店

青森県弘前市のりんご畑。3月、雪の中のりんご畑で「剪定」という、余分な枝を切り落とす作業を始めます。りんごをつくるための一番はじめの仕事です。育てて出荷するまでの間に、最低でも1個に10回は手で触ることになるりんごづくり。

おいしいりんごができるまでの1年間の仕事を写真で見てください。



いのちの食べかた

森達也 著 100%ORANGE/ 及川賢治 装画・挿画
イースト・プレス

私たちが生きていくためには、いのちを犠牲にするしかない。人間はいのちを食べながら生活してきた。牛や鶏などたべられる動物がうまれて、生き、死んでいく過程の事実を知れば、いのちが意味のあることだということがわかる。戦争で死んでいく人のいのちの大切さまでも。



森はだれがつくったのだろう？

ウィリアム・ジャスパソン 文 河合雅雄 訳
チャック・エッカート 絵
童話屋

森の歴史は人間の歴史とちがいで、どのように変わっていくのかについてきました自然の法則があります。この本では、マサチューセッツ州の森を舞台に、森の成長のしくみを見ていきます。

200年前、過去にさかのぼって見ると…ここは開けた緑の地。開拓して畑を作っていた農夫一家がどこかへ移って、変化がはじまります。



どんぐりノート -ひろってうれしい知ってたのしい-

いわさゆうこ / 大滝玲子 作
文化出版局

どんぐりって？どんぐりは、ブナ科の木の実で、かたい皮をもつ種子のことです。日本には約20種類くらいあります。どんぐりの種類、どんぐりのおもちゃ、どんぐりの工作、ゲーム、そして、どんぐりの食べ方などがのっています。まるごと一冊どんぐりの本です。この本を読んで君もどんぐり博士になろう。

